

令和8年2月定例会

議案説明資料  
予算に関する説明書

(令和8年度当初予算等関係)

地域社会振興部

\*各事業の説明資料の「本年度」の欄は来年度の当初計上額  
「前年度」の欄は今年度の当初予算額  
「比較」の欄は「本年度」－「前年度」の額

\*トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考標記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

## 令和 8 年 2 月定例会議案説明資料目次

地域社会振興部

### 【予算関係】

(一般会計)

議案番号	件 名	課 名 等	頁
第 1 号	令和 8 年度鳥取県一般会計予算		
	1 当初予算説明資料	(総括表)	3
		市町村課	4
		県民課	15
		文化政策課	17
		美術館	25
		人権・同和対策課	28
		スポーツ課	35
		関西ワールドマスタースゲームズ課	47
		文化財課	48
		とっとり弥生の王国推進課	54
	2 歳入歳出事項別明細書		63
	3 節の明細		67
	4 継続費に関する調書	文化政策課	72
	5 債務負担行為に関する調書	市町村課 ほか	73

### 【予算関係以外】

(議 案)

議案番号	件 名	課 名 等	頁
第 3 4 号	鳥取県基金条例の一部を改正する条例	スポーツ課	76
第 4 7 号	財産を無償で貸し付けること(米子コンベンションセンター用地)について	文化政策課	79

議案第1号

議案説明資料総括表

地域社会振興部

(単位：千円)

課名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
市町村課	2,762,943	2,933,548	△ 170,605	33,480		414,030	2,315,433	
東部地域振興事務所	251,838	144,373	107,465			12,970	238,868	
中部総合事務所 県民福祉局	74,167	57,390	16,777			1,206	72,961	
西部総合事務所 県民福祉局	88,177	108,336	△ 20,159			1,262	86,915	
西部総合事務所 日野振興センター 日野振興局	31,377	25,724	5,653			519	30,858	
県民課	26,261	28,975	△ 2,714			2,056	24,205	
文化政策課	2,179,866	1,901,765	278,101	126,202	955,000	144,078	954,586	
美術館	1,316,838	1,084,570	232,268	87,341			1,229,497	
人権尊重社会推進局								
人権・同和対策課	380,699	358,666	22,033	137,771		72	242,856	
スポーツ振興局								
スポーツ課	2,584,941	2,424,752	160,189	78,461	1,047,000	53,024	1,406,456	
関西ワールドマスターズ ゲームズ課	120,459	14,343	106,116				120,459	
文化財局								
文化財課	247,200	301,323	△ 54,123	4,958			242,242	
とっとり弥生の王国 推進課	1,001,573	717,303	284,270	243,966	128,000	211,467	418,140	
地域社会振興部 計	11,066,339	10,101,068	965,271	712,179	<1,090,600> 2,130,000	840,684	7,383,476	県費負担額 8,474,076
<p>説明</p> <p>【主な事業】</p> <p>(美術館)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アートな鳥取創出事業 131,003 千円</li> <li>・(新) 県立美術館コレクション形成促進事業 241,134 千円</li> </ul> <p>(人権・同和対策課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・差別と偏見のない社会づくり推進費 23,546 千円</li> <li>・拉致被害者等総合支援事業 12,870 千円</li> </ul> <p>(スポーツ課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ・合宿受入促進事業 66,477 千円</li> <li>・国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会事業 199,607 千円</li> </ul> <p>(関西ワールドマスターズゲームズ課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドマスターズゲームズ2027関西鳥取県大会開催準備事業 120,459 千円</li> </ul> <p>(文化財課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(新) 県内文化財防災等推進事業 1,680 千円</li> </ul> <p>(とっとり弥生の王国推進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とっとり弥生の王国」弥生人+“ワン!”事業 26,851 千円</li> <li>・青谷かみじち史跡公園整備事業 306,269 千円</li> </ul>								

(注)起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。  
 県費負担額は、起債欄の< >書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
1 目 企画総務費

市町村課（内線：7277）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
民主主義再興に向けた投票所減少防止・政治参加促進事業	9,761	9,555	206				9,761	

トータルコスト 17,790千円（前年度 17,442千円） [正職員：1人]

### 1 事業の目的、概要

県民一人ひとりが主権者意識を持ち、地域づくりを我がことと考え、積極的に政治参加できる社会環境を整備していくため、新たな主権者教育、投票所減少防止のための投票環境向上等の取組を推進する。

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
1 投票所減少防止のためのオンライン立会事業	<p>○デジタル技術を活用し、オンラインでの立会を導入することで、投票立会人を柔軟に確保し、投票立会人が不足することを理由にして当日投票所が減少していく事態の解消につなげる。</p> <p>※オンラインでの立会であれば、障がいのある方も立会人を務めやすくなるなど選挙に関わる選挙人の層を拡げることとなり、若年層を含めた有権者の主権者教育としての効果も得られる。</p> <p>市町村の導入への補助率10/10</p>	5,622
2 ちいわか主権者教育プログラム	<p>○令和7年度に導入された全県の小6・中3年代を対象としたオンライン投票である「ちいわか総選挙」を令和8年度も継続的に実施する。</p> <p>※ちいわか…地域とつながり、地域に愛着を持ち、地域のことを我が事ととらえて、積極的に投票その他政治参加する若者</p> <p>※既存の主権者教育（社会科、特別活動（学校行事等）、総合学習（ふるさとキャリア教育等）、道徳等）で身に着けた基礎知識を基にして、小学校6年生と中学校3年生の時期に全県投票をオンラインで実施。投票結果による影響を児童・生徒にフィードバックして、選挙の意義・有効性を体感することで、主権者意識を醸成する。</p>	1,139
3 地域民主主義再興事業（モデル事業補助金）	<p>○市町村の行う民主主義再興・政治参加促進についてのモデル事業を支援する。</p> <p>【対象事業】主権者教育の推進、投票率向上・投票環境改善、議員のなり手不足解消のための新たな取組</p> <p>【実施主体】市町村</p> <p>【補助率】1/2（上限：50万円）</p> <p>【取組例】</p> <p>（1）主権者教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙出前講座の強化・充実（小中学校での出前授業の実施等）</li> <li>・地域、家庭における政治参加の促進（学校の授業公開日における出前授業の実施等）</li> <li>・地域の明るい選挙推進協議会の活性化</li> </ul> <p>（2）投票率向上・投票環境向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投票環境の充実、適正化（移動期日前投票所の増加等）</li> <li>・親子連れ投票の促進</li> <li>・投票所のユニバーサル化（コミュニケーションボード整備等）</li> <li>・投票立会人確保のための取組</li> </ul> <p>（3）議員のなり手不足対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民との積極的な交流の推進</li> <li>・議会政策サポーター制度、議会モニター制度の導入</li> <li>・議員の多様性確保のための研修会、議員のなり手講座の実施</li> </ul>	3,000
		9,761

## 令和 8 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
 2 項 企画費  
 1 目 企画総務費

市町村課（内線：7169）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考	
				国庫支出金	起債	その他	一般財源		
職員人件費 (企画総務費)	1,765,271	1,609,127	156,144	33,233		<手数料581、 受託事業収入 10,234、雑入 1,605>	12,420	1,719,618	
一般職員 185 名分、会計年度任用職員 97 名分の人件費である。									
地域社会振興 部管理運営費	16,728	20,004	△3,276					16,728	
トータルコスト	49,647千円（前年度 52,341千円） [正職員：4.1人]								
地域社会振興部内及び市町村課の各企画調整・対応等に要する経費である。									

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

4項 市町村振興費

1目 自治振興費

市町村課（内線：7581）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
市町村振興事業	683,097	676,297	6,800			<収益事業収入 401,000、受託 事業収入592> 401,592	281,505	
トータルコスト	778,642千円（前年度 770,152千円） [正職員：11.9人]							

### 1 事業の目的、概要

市町村振興を図るために、市町村等へ交付金を交付するほか、市町村の行財政運営等に係る助言等を行うための経費である。

### 2 主な事業内容

#### 【新】（1）自治会・町内会の課題発見・解決 2,800千円

- ・自治会が抱える課題に気づき、解決への糸口に結びつけることを目的としてワークショップ研修会を開催する。
- ・令和8年度に開催予定の中四国自治会連合会ブロック研修会の開催経費の一部を県自治会連合会に助成する。

#### （2）市町村創生交付金 270,000千円

地域の特性に応じて主体的に実施する事業を対象として県が市町村に交付金を交付する。

- 交付率：交付金対象事業費の1/2以内
- 交付対象：市町村独自で行う（国、県等の補助金を受けていない）事業の一般財源
- 配分方法：
  - ・交付金総額の95%を基本交付額として各市町村に配分
  - ・基本交付額は、財政割（標準財政規模、財政力指数を勘案）、均等割、人口割で構成
  - ・交付金総額の5%を調整交付額として、基本交付額を超過して事業を実施した市町村が行う、特に地方創生の推進に資する事業に対して配分

#### （3）市町村振興協会交付金 401,000千円

次に掲げる事業等を行う（公財）鳥取県市町村振興協会に対し、県から交付金を交付する。

- ・市町村に対して災害時の融資等を行うための基金の設置・運用
- ・市町村振興宝くじに係る収益金の市町村への配分
- ・市町村の振興に関する調査研究及び資料等の収集

#### （4）頑張る住民自治活動知事表彰 206千円

住民自治活動による地域社会の維持・形成を促進するため、地域の活性化等に功績のある住民自治体及び同団体で中心的役割を担った功労者を表彰する。

#### （5）その他市町村の行財政運営に係る支援、助言 9,091千円

- ・市町村地方交付税算定等事務
- ・市町村の給与及び公務員制度関係等事務
- ・市町村職員共済組合関係事務 等

### 3 その他（改善点等）

地域を支える地域コミュニティの一つであり、住民自治の基礎的な存在である自治会、町内会については、年々、加入率が低下している。また、価値観の多様化等による加入率の低下や高齢化の進行を背景とした担い手不足が大きな課題となっている。

令和8年度に本県で開催される自治会連合会の中四国ブロック研修会を契機として、市町村及び県自治会連合会等と連携したワークショップを実施し、住民自治組織としての自治会、町内会の自主的な運営の活性化を促進する。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

4項 市町村振興費

1目 自治振興費

市町村課（内線：7580）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
市町村事務移管等推進事業	94,180	91,237	2,943				94,180	
トータルコスト	107,829千円（前年度 104,645千円）〔正職員：1.7人〕							
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>住民に身近な市町村において、住民サービスを提供できるよう、県民の暮らしに密着する事務等について、市町村への権限移譲や事務の委託を行う。</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>○権限移譲交付金 133法令の1014事務（R7.4.1現在）を、希望する市町村、一部事務組合及び広域連合へ権限移譲を実施し、事務に必要な経費を交付する。</p> <p>《主な権限移譲項目》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有害鳥獣駆除目的の捕獲許可</li> <li>・屋外広告物掲載許可</li> <li>・簡易専用水道の立入検査</li> <li>・火薬消費の許可 等</li> </ul>								

2款 総務費

5項 選挙費

1目 選挙管理委員会費

市町村課（内線：7061）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費 （選挙管理委員会費）	19,201	22,581	△3,380	203		18 〈雑入〉	18,980	
<p>一般職員2名分、会計年度任用職員1名分の人件費である。</p>								
選挙管理委員会費	5,885	5,909	△24	44			5,841	
トータルコスト	32,132千円（前年度 31,407千円）〔正職員：2.8人、会計年度任用職員：1人〕							
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>国及び地方公共団体の選挙に関する事務、政党等の政治団体に関する事務及び政党助成法に基づく事務等を実施するとともに、選挙が明るく、正しく行われるように、あらゆる機会を通じて、選挙人の政治・選挙の意識の向上を図るため、各種研修会等の実施や、県内の高校等が実施する主権者教育に関する講演会、座談会、討論会等の実践的な主権者教育の実施を支援する。</p>								

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
5項 選挙費  
2目 県政選挙費

市町村課（内線：7061）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 県政選挙費	債務負担行為 423,991 168,820		債務負担行為 423,991 168,820				債務負担行為 423,991 168,820	
トータルコスト	178,306千円（前年度 0千円） [正職員：0.9人、会計年度任用職員：0.6人]							

1 事業の目的、概要

令和9年執行予定の知事選挙・県議会議員選挙（統一地方選挙）について公職選挙法に基づき管理執行を行う。

2 主な事業内容

(1) 知事選挙経費

事業内容	内容	予算額	うちR8
1 交付金	(1) 投・開票所経費、期日前投票所経費、選挙公報配布経費、演説会施設公営費、市町村事務費及び調整費等	301,717	95,481
(1) 市町村交付金	(2) 新聞広告、政見放送・経歴放送、自動車、看板等		
(2) 候補者公営費	(3) 不在者投票に係る郵送料などの事務費		
(3) 不在者投票特別経費			
2 県分事業費	(1) 選挙長、選挙立会人に係る報酬、旅費及び事務費	4,893	2,626
(1) 選挙会経費	(2) 選挙公報の印刷経費		
(2) 選挙公報発行費			
3 県分調整費		1,305	905
4 県分事務費	投票用紙ほか諸用紙印刷、市町村選管委員長・担当者会議その他県委員会の事務に要する経費	16,918	15,405
計		324,833	114,417

(2) 県議会議員選挙経費

事業内容	内容	予算額	うちR8
1 交付金	(1) 投・開票所経費、期日前投票所経費、選挙公報配布経費、演説会施設公営費、市町村事務費及び調整費等	237,141	41,466
(1) 市町村交付金	(2) 新聞広告、政見放送・経歴放送、自動車、看板等		
(2) 候補者公営費	(3) 不在者投票に係る郵送料などの事務費		
(3) 不在者投票特別経費			
2 県分事業費	(1) 選挙長、選挙立会人に係る報酬、旅費及び事務費	18,479	3,316
(1) 選挙会経費	(2) 選挙公報の印刷経費		
(2) 選挙公報発行費			
3 県分調整費		1,541	646
4 県分事務費	投票用紙ほか諸用紙印刷、市町村選管委員長・担当者会議の他県委員会の事務に要する経費	10,817	8,975
計		267,978	54,403

3 その他（改善点等）

- ・ 前回選挙 令和5年4月9日（日）
- ・ 立候補者 知事選挙2名 県議会議員選挙41名
- ・ 投票率（知事）48.85%

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

4 項 市町村振興費

1 目 自治振興費 < 地方機関計上予算 >

東部地域振興事務所（電話：0858-72-3880）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
八頭郡活性化事業	1,800	1,800	0				1,800	
トータルコスト	12,188千円（前年度 4,955千円） [正職員：1.2人、会計年度任用職員：0.2人]							

### 1 事業の目的、概要

八頭郡3町の行政及び地域住民等との密接な連携により八頭圏域の実情や行政課題を的確に把握し、意見交換及び研究・検討を行うとともに、3町が抱える共通テーマや喫緊の課題解決に向けた活動を支援することにより、圏域の活性化を推進する。

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
戦略企画事業	企画調査事業、政策形成推進事業、地域資源再発見事業の実施等に要する経費	300
八頭郡活性化事業		1,500
・八頭郡広域的課題解決事業	八頭郡3町の政策課題の解決及び当該課題解決に係る各町関連事業の推進に資するため、八頭郡内民間関係者の意見や若手研修事業の成果を生かした広域連携強化に資する事業を実施する。	(600)
・八頭郡魅力発信事業	八頭郡3町の観光誘客、移住定住促進等に繋がる情報発信に資する取組を効果的に実施する。 （「八頭郡」として関西圏等で開催されるイベントへの出展、広報物の作成等）	(300)
・八頭郡発地方創生力向上事業	地域活性化やまちづくりの手法、各種施策等について学習し、八頭郡における地域づくりの実践力を高めるための研修会や専門家の派遣等を実施する。	(600)
合計		1,800

### 3 その他（改善点等）

これまで県と八頭郡3町の行政職員を構成員として事業実施してきたが、令和7年度より全面的に拡充し、事業内容を大幅に充実させるとともに、八頭郡3町の圏域内の地域団体、事業者、NPO等民間団体の代表を加えることにより、よりきめ細かく実態に即した地域課題の把握や意見交換を実施し、3町や県に対し課題解決に向けた新規事業や制度創設の提案等を行う体制を構築した。

東部圏域みんなで地方創生事業	2,000	2,000	0				2,000	
トータルコスト	10,029千円（前年度 3,577千円） [正職員：1人]							

### 1 事業の目的、概要

東部圏域における地方創生の実現に向けて、民間団体等が行う地方創生に資する取組を支援し、官民一体となった取組を推進するとともに、圏域の重点課題や緊急的な課題等に対応し、地域の事情や特性に配慮しながら、時機を失することなく効果的な事業が実施できるよう、東部地域振興事務所長の裁量により活用できる枠予算として設定する。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

### 2 款 総務費

#### 4 項 市町村振興費

東部地域振興事務所（電話：0858-72-3880）

#### 1 目 自治振興費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東部地域振興事業	4,597	4,597	0				4,597	
トータルコスト	15,738千円（前年度 13,273千円） [正職員：1.2人、会計年度任用職員：0.4人]							

### 1 事業の目的、概要

東部地域において、地域資源を活用しながら地域の魅力創出を行い、交流・関係人口及び観光客の増加などに繋がる活性化の取組を促進・支援する。

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
1 日本風景街道「新因幡ライン」魅力向上事業	・日本風景街道新因幡ライン沿線自治体等連絡協議会の運営及び新因幡ラインPR事業に係る負担金 ・鳥取R29フォトキャラバンの実施	1,800
2 「幸せはこぶ福（29）ロード」事業	・国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会負担金 ・ニク（29）ロードイベント等の実施	1,007
3 氷ノ山地域振興事業	氷ノ山夏山開き、自然体験活動、鳥取兵庫両県住民が氷ノ山を通じて交流するイベント等の実施	1,790
合計		4,597

### 3 その他（改善点等）

(1) 日本風景街道「新因幡ライン」魅力向上事業

鳥取県国道29号日本風景街道推進事業費補助金について、事業参加者以外にも広く事業周知を図り、地域外への発信に注力するため、集客力のある展示会場での実施やWebの活用等を積極的に行った。

(2) 「幸せ運ぶ福（29）ロード」事業

ニク（29）ロードウォークについて、令和6年度は夜間の実施だったが、参加者に対して沿線の魅力をより訴求し、その発信につなげるため、令和7年度は日中の開催とすることで改善を行った。

(3) 氷ノ山地域振興事業

・わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会負担金

令和7年度には登山者数の増加を図るため、複数サイトに分散していた登山情報を一本化したサイトを新たに作成した。

一方で登山ガイドの育成、ツアー客の誘致、グリーンシーズンのコンテンツの磨き上げ等、誘客促進について引き続き検討する。

・氷ノ山県際交流推進事業

令和6年度から共同で出展している関西圏の大規模イベントに令和7年度も出展し、都市部からの更なる誘客促進を行った。

八頭庁舎管理運営費	15,979	15,721	258			<使用料・手数料4,345、財産収入18、雑入142> 4,505	11,474	
トータルコスト	43,235千円（前年度 38,323千円） [正職員：1.8人、会計年度任用職員：3.4人]							

### 1 事業の目的、概要

八頭庁舎の庁舎管理及び事務処理に要する経費である。

東部庁舎管理運営費	163,892	112,945	50,947			<使用料7,633、雑入832> 8,465	155,427	
トータルコスト	223,500千円（前年度 162,622千円） [正職員：4人、会計年度任用職員：7.3人]							

### 1 事業の目的、概要

東部庁舎の庁舎維持管理、修繕（受変電設備更新、電話交換機更新等）に要する経費である。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

4項 市町村振興費

1目 自治振興費 <地方機関計上予算>

東部地域振興事務所（電話：0857-20-3653）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東部地域振興事務所管理運営費	7,405	7,310	95				7,405	
トータルコスト	39,273千円（前年度 59,623千円） [正職員：3.5人、会計年度任用職員：1人]							
<b>1 事業の目的、概要</b>								
東部地域振興事務所と東部地区の地方機関・市町との連絡調整等に要する経費である。								
(新)八頭庁舎電話交換設備改修事業	49,172	0	49,172				49,172	
トータルコスト	49,975千円（前年度 0千円） [正職員：0.1人]							
<b>1 事業の目的、概要</b>								
八頭庁舎の電話交換機の更新整備を行うとともに、電話回線の変更及びPHSの導入を行う。								
<b>2 主な事業内容</b>								
八頭庁舎電話交換設備の改修工事								
(1) 対象施設 八頭庁舎（本館、別館、会議棟）								
(2) 整備内容 電話交換機の更新、電話回線の変更（ISDN→光）及び電話機のPHS化								
※令和5年度に実施設計済み								
(新)八頭庁舎女性職員用シャワー室設置事業	6,993	0	6,993				6,993	
トータルコスト	7,796千円（前年度 0千円） [正職員：0.1人]							
<b>1 事業の目的、概要</b>								
若者や女性に選ばれる職場環境づくりを進めていく中で、八頭庁舎には女性職員用のシャワー室がなく、現場に出ることが多い農林及び土木事務所の技術系職員をはじめとした女性職員が働きやすい施設環境にするため、女性専用のシャワー室を整備する。								
<b>2 主な事業内容</b>								
八頭庁舎本館内の女性用洗面所内を改修し、新たにシャワー室及び更衣室を設置する。								

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

15目 総合事務所費 <地方機関計上予算>

中部県民福祉局（電話：0858-23-3988）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中部総合事務所運営事業	72,167	55,390	16,777			<使用料 1,204、 雑入2> 1,206	70,961	
トータルコスト	179,068千円（前年度 158,688千円） [正職員：10.5人、会計年度任用職員：6人]							
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>総合事務所内の機能強化を図り、地域のニーズに対応した効率的・効果的な事務所運営、総合事務所庁舎管理等の業務を行う。</p>								
中部圏域みんなで地方創生事業	2,000	2,000	0				2,000	
トータルコスト	2,803千円（前年度 2,789千円） [正職員：0.1人]							
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>中部圏域における地方創生の実現に向けて、民間団体等が行う地方創生に資する取組を支援し、官民一体となった取組を推進するとともに、圏域の重点課題や緊急的な課題等に対応し、地域の事情や特性に配慮しながら、時機を失することなく効果的な事業が実施できるよう、中部総合事務所長の裁量により活用できる枠予算として設定する。</p>								

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

15目 総合事務所費 <地方機関計上予算>

西部県民福祉局（電話：0859-31-9655）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県西部総合事務所・米子市役所糺町庁舎維持管理等事業	65,895	63,734	2,161				65,895	
トータルコスト	73,924千円（前年度 71,621千円）〔正職員：1人〕							
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>県西部総合事務所3号館・米子市役所糺町庁舎の整備をはじめとした西部総合事務所の維持管理等を効率的かつ効果的に実施するため、米子市と連携し民間活力やノウハウを活用するPFI手法で実施する。（PFI事業契約のサービス対価）</p>								
西部総合事務所費（県民福祉局）	20,282	42,602	△22,320			<使用料 1,256、雑入6> 1,262	19,020	
トータルコスト	152,072千円（前年度 170,349千円）〔正職員：13.6人、会計年度任用職員：6人〕							
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>西部総合事務所の維持管理・修繕及び西部管内の地方機関、市町村、経済団体等との連絡調整に要する経費である。</p>								
西部圏域みんなで地方創生事業	2,000	2,000	0				2,000	
トータルコスト	3,606千円（前年度 3,577千円）〔正職員：0.2人〕							
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>西部圏域における地方創生の実現に向けて、民間団体等が行う地方創生に資する取組を支援し、官民一体となった取組を推進するとともに、圏域の重点課題や緊急的な課題等に対応し、地域の事情や特性に配慮しながら、時機を失することなく効果的な事業が実施できるよう、西部総合事務所長又は日野振興センター所長の裁量により活用できる枠予算として設定する。</p>								

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

1項 総務管理費

15目 総合事務所費 <地方機関計上予算>

日野振興局（電話：0859-72-2084）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
西部総合事務所費（日野振興センター管理運営費）	31,336	25,683	5,653			<使用料518,雑入1> 519	30,817	
トータルコスト	95,377千円（前年度 87,450千円） [正職員：6.1人、会計年度任用職員：4人]							

### 1 事業の目的、概要

日野地域における行政サービスの提供及び地域課題の解決等、総合的な県政を推進するため、組織体制の強化、庁舎の適切な管理等を行い、地域に密着したセンター運営を行う。

2款 総務費

4項 市町村振興費

1目 自治振興費 <地方機関計上予算>

日野振興局（電話：0859-72-2085）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県日野郡連携会議負担金	41	41	0				41	
トータルコスト	2,450千円（前年度 2,407千円） [正職員：0.3人]							

### 1 事業の目的、概要

「鳥取県日野郡連携会議」（県・日野郡3町により構成。地方自治法の連携協約の枠組みにより平成27年7月1日新設）の運営に係る経常的な経費のうち、県負担分を同会議に支出するもの。

### 2 主な事業内容

○日野郡3町と県による連携の取組（連携協約の内容）

政策分野	取組内容
安心・安全の確保	障がい者雇用、母子保健（発達支援等）、公共土木施設の維持管理（除雪等）、有害鳥獣被害対策
雇用創造、産業振興、観光振興	移住定住・子育て支援、農林業振興・6次産業化、戦略的な観光施策
地域活性化、行政機能・住民サービスの向上	人事交流等の手法による専門人材確保、圏域マネジメント能力のための人材育成、行政情報等の共同発信等

※上記の取組以外にも適宜状況に応じて機動的に対応

### 3 その他（改善点等）

- ・町長・センター所長会議、副町長・センター所長会議の開催のほか、各分野ごとにワーキンググループを設置し、新たな課題の把握や解決策を検討し、地域活性化や住民の安全・安心に繋がる取組を状況に応じて柔軟に進めている。
- ・令和7年8月、共同宣言を行い、森林資源の循環利用の推進や景観資源の磨き上げ等の新たな取組を連携して進めている。

## 令和 8 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

1 項 総務管理費

1 目 一般管理費

県民課（内線：7026）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
県民課管理運営費	9,964	9,964	0			<財産収入 250、 雑入118> 368	9,596	
トータルコスト	11,570千円（前年度 11,541千円）〔正職員：0.2人〕							
県民課の各企画調整・対応等に要する経費である。								

2 款 総務費

1 項 総務管理費

3 目 広報費

県民課（内線：7026）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
総合受付等運営費	9,000	11,820	△2,820				9,000	
トータルコスト	11,409千円（前年度 14,186千円）〔正職員：0.3人〕							
「県民に開かれた県政」、「県民とともに歩む県政」を推進するため、総合受付案内窓口において、県庁を訪れる方に対する所管所属等の案内、代表電話への入電について所管所属への取次、県民室への配架物・閲覧資料の整備等に要する経費である。（令和7～9年度債務負担行為設定済）								

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
1項 総務管理費  
3目 広報費

県民課（内線：7752）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
県民参画推進事業	4,956	4,868	88				4,956	
トータルコスト	61,465千円（前年度 59,807千円） [正職員：6.1人、会計年度任用職員：2人]							

1 事業の目的、概要

地方自治の原点として制定した県民参画基本条例（平成25年）の基本理念に基づき、多様な視点・手法の組合せにより、施策の立案、実施、見直し等の多くの段階において広聴事業を実施し、県民からの多様な意見、提言を県政へ反映させる。

2 主な事業内容

区分	内容
県民の声	県政全般に関する意見・提言等の受付、不当要求行為等に対する総合的調整を行う。
県民意識調査	県民3,000名（無作為抽出）に対して、総合戦略をはじめとした県政全般に関するアンケートを行い、県民の意識及びその変化を把握し、県政推進の基礎資料とする。
県政モニタリング事業	特定の県政課題に対して、県政モニターの意見等を聴き、施策に反映させる。
県政参画電子アンケート	特定の県政課題、事業等の意思決定過程において、インターネットを利用したアンケート調査を行い、県民の意識・意向を速やかに把握し、政策に反映させる。
鳥取県パートナー県政推進会議	県民と県政との協働のあり方、今後の行政と地域における課題、対応策等について有識者等と意見交換を行い、施策の改善を検討する。
出前説明会	県の重点施策や県民の関心が高い課題等について、職員が県民の集会等に出向いて説明し、県政に対する理解を促進する。また、県民の生の声を聴いて施策に反映させる。
県庁見学	見学希望団体（小学校・自治会等）に対して、県の概要説明、県庁舎・議会棟・知事公邸等の案内をするとともに、県政に対する意見等を聴き施策に反映させる。
パブリックコメント	県政の基本方針や県民生活への影響が大きい条例等の立案等に際し、県民の意見を聴き反映させる。
伸びのびトーク	知事等の県幹部が地域に直接出かけ、直面する課題等について住民等と直接対話を行う。

2款 総務費  
1項 総務管理費  
4目 文書費

県民課（内線：7753）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
情報公開・個人情報保護制度運営費	2,341	2,323	18			<手数料 1,188、受託収 入500> 1,688	653	
トータルコスト	40,077千円（前年度 33,871千円） [正職員：4.7人]							

1 事業の目的、概要

公文書の適正な開示決定等、県政に関する情報の公表及び提供を推進し、県民参加による公平で開かれた県政の実現を図るとともに、個人情報保護法及び鳥取県個人情報保護条例に基づき、適正に個人情報等を取り扱い、個人の権利利益の保護を図る。また、鳥取県情報公開・個人情報保護審査会を設置し、各制度の公正な運用を確保する。

行政手続法及び鳥取県行政手続条例に基づく制度の円滑な運用を推進し、県の行政運営における公正の確保と透明性の向上を図る。

2 主な事業内容

区分	内容
情報公開・個人情報保護事務処理費	・情報公開・個人情報保護制度に係る事務の総括、指導、助言、研修等を行う。 ・行政手続法及び鳥取県行政手続条例の施行に係る事務を行う。
情報公開・個人情報保護審査会諸費	・鳥取県情報公開条例及び個人情報保護法に基づく審査会の設置及び運営を行う。 ・市町村等との事務の共同処理（情報公開条例に基づく審査会、個人情報保護法に基づく審査会及び議会個人情報保護条例に基づく審査会の設置及び事務の受託）を行う。

3 その他（改善点等）

- ・情報公開・個人情報保護事務において、手続きのオンライン化やインターネットの活用により、積極的な県政情報の公開を推進するとともに、行政文書の適切な取扱いを定着させるための取組みや計画的な実地検査により、県が保有する個人情報等の管理に係る業務の適正化に努めている。
- ・情報公開・個人情報保護審査会について、令和6年度から、市町村等の情報公開条例及び議会個人情報保護条例に係る審査会についても、その設置及び運営に係る事務を受託し共同処理を開始している。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
2目 計画調査費

文化政策課（内線：7134）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アート活動振興事業	66,500	88,000	△21,500	25,750			40,750	
トータルコスト	83,361千円（前年度 104,563千円）〔正職員：2.1人〕							

### 1 事業の目的、概要

地域でアートを体験することができる機会を創出する取組を支援することで、全世代がアートに親しむ環境作り及び文化芸術の振興を図る。

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
県内アートイベントの一体的な情報発信等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内アートイベント等を「地域の芸術祭」とし、アートマップやSNS等で情報発信する。</li> <li>● 県立美術館や県内アートスポット、イベント等の周遊を促すため、コンテンツの磨き上げや周遊の仕組みづくりを行う。</li> </ul>	4,000
地域の芸術祭等の開催支援事業	<p>関係団体等と連携し、地域の芸術祭等を開催する地域づくり団体を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の芸術祭等開催事業補助金（11,500千円） 芸術祭等のアートイベントや作品制作など、市町村等と連携してアートを活用した地域づくり活動を行う団体（11団体程度）</li> <li>● 工芸・アート村推進事業補助金（5,000千円） ・西郷工芸の郷あまんじゃく（工芸作家の制作拠点） ・こっちの大山研究所（アーティストの交流拠点）</li> <li>● 鳥の演劇祭開催事業補助金（41,000千円） 国際演劇祭「鳥の演劇祭19」の開催、表現ワークショップ（トリジューク）開催事業等への支援</li> <li>● 演劇を活かしたコミュニケーションワークショップ等（5,000千円） 鳥の劇場による学校や障がい福祉事業所等での演劇ワークショップ等</li> </ul>	62,500
合 計		66,500

（終了）BeSeTo演劇祭等開催支援事業：（R7）11,500千円

（移管）県立美術館の企画展と連動した地域アートイベント支援事業：（R7）5,000千円

### 3 その他（改善点等）

- 県立美術館開館を機とした県下一体的なアート振興を推進するため、令和7年度に、複数あるアートを活用した地域づくり支援補助金を1つに統合・拡充した補助制度を創設し、新たに3団体の取組の支援を実施した。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
 2 項 企画費  
 2 目 計画調査費

文化政策課（内線：7843）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
文化芸術活動支援事業	39,762	40,196	△434				39,762	
トータルコスト	53,639千円（前年度 53,628千円）〔正職員：1.4人、会計年度任用職員：0.7人〕							

### 1 事業の目的、概要

県内に活動の本拠を置く芸術家及び文化芸術団体等が自ら行う様々な文化芸術活動等に対し支援を行うとともに、鳥取県文化団体連合会をはじめとする文化団体等と連携し、子どもたちを対象とした公演や体験教室などを実施する。

### 2 主な事業内容

区分	補助対象事業	予算額
文化芸術活動実践者への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内芸術家及び文化活動団体等が行う展示、公演、啓発事業等</li> <li>● 民間美術館等が実施する収蔵品等の調査・活用</li> <li>● 未就学児を対象とした作品鑑賞の機会の提供</li> <li>● 手話・要約筆記の配置、託児の実施</li> <li>● 文化芸術活動団体・者の国民文化祭又は中四国文化の集いへの参加</li> </ul>	10,007
文化団体等への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鳥取県文化団体連合会事務局の運営費及び国際交流事業費</li> <li>● 同連合会加盟団体が実施する、県内の文化の裾野の拡大や地域における文化活動の活性化に寄与する事業</li> <li>● 同連合会と連携して行う、子どもを対象とした、文化芸術の楽しさを気軽に体験できる入門講座</li> </ul>	20,755
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (公財)鳥取県文化振興財団が行う、県内小・中・高・特別支援学校の児童・生徒を対象に行う芸術鑑賞公演の開催</li> </ul>	9,000

### 3 その他（改善点等）

- 豊富な経験と知識を持つ地域の文化団体と協働することにより、子どもたちへ質の高い文化芸術の体験の機会を提供している。令和7年度は地域の伝統芸能や日本文化（貝殻節、和楽器）の入門講座を行うとともに、音楽・演劇・古典芸能等の芸術鑑賞公演を実施した。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
2 目 計画調査費

文化政策課（内線：7843）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第24回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2026開催事業	55,918	52,918	3,000	1,500			54,418	
トータルコスト	56,721千円（前年度 53,707千円） [正職員：0.1人]							

### 1 事業の目的、概要

アートピア行動指針に掲げる「年齢・性別・障がいの有無・場所に関わらず、県民誰もが文化芸術を身近に感じ、親しみを持つことのできる鳥取県」を目指し、幅広い県民が参画、鑑賞・参加する機会を創出するとりアート事業を実施する。

### 2 主な事業内容

事業主体 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会(事務局：(公財)鳥取県文化振興財団)

区分	細事業名	内容	予算額
開催事業費 補助金	企画事業	・県内の文化活動団体・活動者と創る舞台公演 ・県内の文化資源を活用し、地域と連携した事業	10,000
	次世代育成事業	・高校生以下を対象とし、日頃の活動の発表や創作活動の機会となる舞台公演 ・子ども向けの鑑賞事業やアートワークショップ	4,500
	展示事業	・公募作品等の県内巡回展示	1,800
	広報費・ 運営事務費	・事業全体の広報 ・実行委員会及び事務局の運営	5,407
	次年度開催準備 費・開幕式	・次年度事業に係る広報準備 ・第24回とりアートのスタートに係る開幕イベント	2,000
事務局運営費 補助金	人件費等	・事務局職員（正職員5名）に係る人件費等	29,211
県立美術館の企画展と連動した アートイベント事業		・県立美術館の企画展と連動したアートイベント	3,000

### 3 その他（改善点等）

- 親しみやすい年間テーマ（令和7年度は「FUN! FUN! アート」）のもと、鑑賞、ワークショップ、創作発表など多様な企画を行い、広く県民の参加が図られる事業を展開している。
- エースパック未来中心と県立美術館を会場とし、県内外の団体とともに県立美術館企画展(令和7年度は「花鳥画展」)と連携した音楽公演やワークショップ等の開催を行うことにより、美術館エリアで一体となり県内文化芸術情報の発信、アート体験機会の充実を図っている。
- 学生ボランティアによるイベント運営や県内活動者の出演協力など、地域の協力を得ながら事業を進めているところであるが、より県内の文化芸術団体・活動者との連携を深め、出演、出品、鑑賞、体験、企画、運営など、様々な場面において県民の参画を促していく。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
2 目 計画調査費

文化政策課（内線：7843）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第70回鳥取県美術展覧会開催事業	33,099	32,679	420			<雑入> 1,000	32,099	
トータルコスト	38,997千円（前年度 38,330千円）〔正職員：0.5人、会計年度任用職員：0.5人〕							

### 1 事業の目的、概要

広く県民から美術作品を募り、創作作品の発表の場として、また、優れた作品を鑑賞する場として、第70回鳥取県美術展覧会（県展）を開催する。

### 2 主な事業内容

【第70回鳥取県美術展覧会の概要（予定）】

- (1) 主催 鳥取県、鳥取県教育委員会
- (2) 対象 県内在住、在学、通勤者又は県内の美術団体に所属する者
- (3) 部門 洋画・日本画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン（8部門）
- (4) 表彰 県展賞、奨励賞、あなたが好きな作品賞（観覧者投票による）
- (5) 展示 会期：令和8年9～11月 展示数：420点程度  
会場：鳥取県立美術館、鳥取県立博物館、米子市美術館、日南町美術館（選抜展）

### 3 その他（改善点等）

- 引き続き幅広い世代の作品出品や鑑賞を呼びかけ、県展をきっかけに文化・芸術に親しむ人づくりを行っている。
- 令和元年度から会期中に観覧者が選ぶ好きな作品投票を実施するとともに、令和4年度より特に若者世代へ展覧会の周知を図るため、SNSなど多様なメディアを通じての広報を行っている。令和4年度からは出品者のすそ野を拡大するため、学生以下を対象とした出品規定の見直しを行った。令和7年度は、若い世代に向けて県内大学美術部への働きかけや、県外美術系学校にも広報を行った。

第24回鳥取県ジュニア美術展覧会開催事業	21,058	21,053	5				21,058	
トータルコスト	26,153千円（前年度 25,915千円）〔正職員：0.4人、会計年度任用職員：0.5人〕							

### 1 事業の目的、概要

鳥取県の児童・生徒等の創作作品を発表する場を提供し、出展機会を拡大することで、芸術文化活動への意欲を高め、県内の青少年の美術活動の振興を図ることを目的とする。

### 2 主な事業内容

【第24回鳥取県ジュニア美術展覧会の概要（予定）】

- (1) 主催 鳥取県、鳥取県教育委員会
- (2) 対象 県内の小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校(小学部・中学部)に在学する児童、生徒
- (3) 会場 鳥取県立美術館、鳥取県立博物館、米子市美術館
- (4) 会期 令和8年12月～令和9年2月
- (5) 部門 絵画・デザイン、書写、写真（3部門）
- (6) 表彰 知事賞、特別賞、教育長賞、奨励賞
- (7) 展示数 審査の上、約1,200点の作品を選考・展示
- (8) その他 関連事業としてアートワークショップを開催

### 3 その他（改善点等）

- 多くの児童・生徒へ出品を促すため、引き続き事業の周知に取り組むとともに、ワークショップの開催により作品創作の機会を提供する。
- 令和7年度は、開館を記念し県立美術館ですべての入賞・入選作品の展示を行った。県内の児童・生徒の芸術文化活動への意欲を高めることから令和8年度も県立美術館においてすべての入賞・入選作品の展示を継続して行う予定。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
2目 計画調査費

文化政策課（内線：7843）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
次代の文化芸術を担う輝く人材育成事業	7,100	7,100	0	2,650			4,450	
トータルコスト	11,015千円（前年度 10,832千円） [正職員：0.3人、会計年度任用職員：0.4人]							

1 事業の目的、概要

- 文化芸術に親しめる環境を将来にわたり維持していくためには、鑑賞者・活動者・指導者等の確保が急務であり、特に若年層に対する支援が必要であることから、次代を見据えた若年層の活動の活性化や新たな文化芸術の創造のため、若年層の文化芸術活動や挑戦を支援する。
- 子どもたちが主体となった文化芸術活動に取り組む団体を支援するとともに、活動の裾野の拡大・レベルアップに向けた活動を支援する。また、特に高い意欲や才能をもって音楽・舞踊・美術等に取り組む子どもたちに対して、才能を伸ばし、将来も見据えて次のステップに躍進するための支援を行う。

2 主な事業内容

次代の文化芸術を担う人材育成事業補助金

細事業名	対象事業	県補助率・上限額	予算額
1 次世代活動者育成支援事業	県内の文化芸術団体が実施する、主に高校生以下の者による公演・展示	1/2 上限（通常150、大規模事業・県外公演300、海外公演700）	1,900
2 地域における中学生等の文化活動推進事業	市町村・団体等が実施する、中学生等を対象とした文化芸術教室等	定額 上限300	900
3 文化芸術活動レベルアップ支援事業	高校生以下が活動する文化活動団体・部活動等が実施する、レベルアップのための外部講師の招聘	定額 上限100	1,300
4 若年層のための公募展・コンクール開催支援事業	県内の団体・企業が実施する、18才以下の者を対象とした公募展・コンクールの開催	定額 上限300	1,200
5 公募展・コンクール等挑戦支援事業	全国的又は一般を対象とした公募展や県外（海外を含む）におけるコンクール、講習会等への参加	定額 （内容によって10～200）	1,800
合計			7,100

3 その他（改善点等）

- 各活動団体は財政基盤が弱い中で活動・取組をしているが、財政的な支援があることで活動内容の充実や新たな取組の実施につながっている。

CATCH the STARミュージックコンテスト開催事業	3,500	3,500	0			<寄附金> 3,500	
トータルコスト	6,286千円（前年度 6,207千円） [正職員：0.3人、会計年度任用職員：0.1人]						

1 事業の目的、概要

若者の音楽活動の活性化と拡大を図るとともに、音楽活動に携わる人材の発掘や育成につなげるため、県内の中・高校生を対象としたミュージックコンテストを開催する。

2 主な事業内容

【事業主体】 CATCH the STARミュージックコンテスト実行委員会

【事業費】 3,500千円（県補助金）

【事業内容】

(1) 開催時期 令和8年5～8月 参加者募集  
(予定) 9月上旬 予選審査  
10月 本大会

(2) 開催時期 ヴォーカル部門、演奏・バンド部門の2部門

(3) 参加資格 県内の学校に通う中・高校生又は県内在住の高校生年齢の方

(4) 表彰 優れたパフォーマンスを行った出演者を表彰し、今後の活動を後押しする。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
2目 計画調査費

文化政策課（内線：7839）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
文化芸術拠点施設運営費	〔債務負担行為〕 31,886 739,874	〔債務負担行為〕 48,873 725,391	〔債務負担行為〕 △16,987 14,483			<雑入> 23,470	〔債務負担行為〕 31,886 620,102	
トータルコスト	743,889千円（前年度 729,335千円） [正職員：0.5人]							

1 事業の目的、概要

県有文化施設4館（県民文化会館、倉吉未来中心、米子コンベンションセンター、童謡館）について、指定管理者による管理運営及び文化事業等を実施する。

2 主な事業内容

(1) 現在の指定管理に関する指定管理料

ア 指定管理期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

イ 指定管理料 739,333千円

<内訳>

区分	R8 予算額	うち追加分	債務負担行為 (R9～10)	追加分の内訳	備考
県民文化会館	329,976	57,070	7,138	● 指定管理料見直しによる算定額56,053千円 ● R8から利用開始予定の新設昇降機の保守費追加1,017千円	
倉吉未来中心	159,594	43,966	10,364	● 指定管理料見直しによる算定額42,966千円 ● 美術館開館に伴う駐車場警備費の追加1,000千円	(負担割合) 県2/3、中部地区市町1/3
米子コンベンションセンター	158,539	45,991	11,354	● 指定管理料見直しによる算定額45,991千円	(負担割合) 県2/3、米子市1/3
童謡館	91,224	11,505	3,030	● 指定管理料見直しによる算定額11,342千円 ● R7に更新した自動制御設備の保守点検費の増加に伴う追加163千円	(負担割合) 県1/2、鳥取市1/2
合計	739,333	158,532	31,886		

※指定管理料見直しによる増額について、令和9～10年度分も同様に増額するため、併せて債務負担行為を追加する。  
※県民文化会館の昇降機保守費、倉吉未来中心の駐車場警備費の費用、童謡館の自動制御設備の保守点検費にかかる増額分についても、令和9年～10年度分も同様に増額するため、債務負担行為を追加する。

【参考】指定管理料の見直しの考え方

- 人件費：各年度の民間給与実態調査を基に積算した人件費が、予算設定時（再算定を行った場合は再算定時）と比較して施設ごとに±3%以上の増減があった場合、再算定を行う。
- 物件費等：予算設定時（再算定を行った場合は再算定時）と比較して、鳥取市物価指数に±3%以上の増減があった場合、再算定を行う。
- 光熱費：物価指数を考慮して算定した額を毎年度別枠で措置する。

(2) 指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会運営費 541千円

指定管理施設の適正な管理運営を図るため、外部有識者等を委員とする「指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会」を開催し、所管課による点検と合わせ、委員からの意見聴取により各施設の管理運営状況に係る評価を行う。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7839）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源			備考	
				国庫支出金	起債	その他		
文化芸術拠点施設環境整備事業	〔継続費〕 1,045,568	〔継続費〕 252,771	〔継続費〕 792,797		〔継続費〕 827,000 (477,500)	〔継続費〕 122,429 (受託事業収入)	〔継続費〕 96,139	県費負担 603,220
	1,194,465	910,678	283,787		955,000	113,745	125,720	

トータルコスト 1,206,033千円（前年度 921,955千円）〔正職員：1.3人、会計年度任用職員：0.3人〕

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県有文化施設4館（県民文化会館、倉吉未来中心、米子コンベンションセンター、童謡館）の建物等に係る「中長期保全計画」に基づく修繕・更新、バリアフリー対応などの改修及び備品購入を計画的に行うことで必要な予防保全に努め、各施設の機能を果たすことを目指す。

2 主な事業内容

(1) 施設改修事業一覧

施設名	内容 (うち中長期保全計画に係る主な事業)	件数	予算額
県民文化会館	・舞台照明、音響設備改修（R8からR9継続費） ・空調設備整備 ・小ホール電動式移動観覧席メンテナンス ・防火シャッター、防火ダンパー改修 ・展示室可動パネル改修 ・フリースペース昇降機設置（R7からR8継続費） ・フリースペース等照明器具LED改修 他	23	612,746
倉吉未来中心	・ホール内吊マイク、電気時計設備改修 ・空調設備整備 ・舞台機構ケーブル改修 ・防火シャッター、排煙設備改修 ・スプリンクラー制御設備改修 ・セミナールーム映像音響設備改修 ・ティンパニー、譜面台等備品更新 他	21	189,007
米子コンベンションセンター	・工業用水次亜塩素素注入装置設置 ・バリアフリートイレ扉改修 ・空調設備整備、自動制御設備更新 ・非常用発電機整備 ・受変電設備改修（R7からR8継続費） ・会議室机、ホワイトボード等備品更新 他	13	163,858
童謡館	・外壁改修（R8からR9継続費） ・空調設備整備 ・防火シャッター改修 他	6	226,596
共通	・中長期保全計画の対象事業なし 参考 Wi-Fi設備保守業務（会議室系） Wi-Fi設備保守業務（ホール系）	2	2,258
合計		65	1,194,465

(2) 継続費 年度ごとの所要経費

施設名	事業名	令和8年度	令和9年度	合計
県民文化会館	舞台照明改修工事	224,297	338,532	562,829
県民文化会館	舞台音響設備改修業務	94,724	143,155	237,879
童謡館	外壁ほか改修工事	195,887	48,973	244,860
	合計	514,908	530,660	1,045,568

(注) 起債欄の〈 〉書きは交付税措置額を除いた額である。

県費負担額は、起債欄の〈 〉書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
2 目 計画調査費

文化政策課（内線：7133）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
万葉の郷とつとりけん魅力発信事業	2,989	2,989	0				2,989	
トータルコスト	4,595千円（前年度 4,566千円） [正職員：0.2人]							

1 事業の目的、概要

「令和」の出典となった万葉集ゆかりの山上憶良、大伴家持が国守として赴任した地である鳥取県の魅力を広く発信し、次世代につなぐ機運醸成を図るため、全国の高校生を対象とした短歌大会を開催する。

2 主な事業内容

第8回万葉の郷とつとりけん全国高校生短歌大会

(1) 開催時期 令和8年11月（予定）

(2) 参加対象 県内外の高等学校・特別支援学校高等部等の生徒

(3) 内容

【チーム部門】 予選審査を通過した4チームがトーナメント方式により対戦する。

【個人部門】 自由題の短歌作品を1人1首募集し、特別賞（5名）を表彰する。

(4) その他

大会後に、参加者・審査員等が参加する交流会、参加者が鳥取市内の万葉集ゆかりの地等を巡るバスツアーを開催する。

文化政策課管理運営費	15,601	16,261	△660			＜収益事業収入＞ 2,363	13,238	
トータルコスト	62,347千円（前年度 61,924千円） [正職員：5.4人、会計年度任用職員：0.9人]							

1 事業の目的、概要

鳥取県文化芸術振興審議会などの運営経費及び文化政策課内事務に係る経費である。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
鳥取県文化芸術振興審議会運営費	鳥取県文化芸術振興条例に基づく「鳥取県文化芸術振興審議会」の開催	290
鳥取県文化功労賞知事表彰・その他知事賞	鳥取県文化功労賞及び文化奨励賞の交付、表彰式、受賞者の功績を紹介する巡回展、講演会等の実施。 県民を対象とした、文化芸術分野のコンクール等に知事賞を交付。	4,326
鳥取県文化芸術事業評価事業	県が実施又は助成する文化芸術事業について、評価委員会において事業評価を実施 ● 評価委員会の開催（評価事業の選定、評価方式の審議） ● 評価報告書の作成（実地検証、評価執筆） ● 事業主催者へのヒアリング（事業評価に係る助言、改善指導等）	1,294
文化政策課管理運営費	事務費等	9,691
合計		15,601

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
 2 項 企画費  
 8 目 美術館費

美術館（電話：0858-47-3011）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立美術館運営事業	〔債務負担行為〕 31,342 944,701	915,569	〔債務負担行為〕 31,342 29,132	25,676			〔債務負担行為〕 31,342 919,025	
トータルコスト	968,788千円（前年度 939,230千円）〔正職員：3人〕							

### 1 事業の目的、概要

県立美術館のPFI事業に係る必要経費及び県直営事業に係る経費。

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
1 整備・運営経費	PFI事業契約に基づき事業者に支払うサービス対価（債務負担行為設定済）等	909,472
2 物価高騰等に伴う運営経費増額	運営業務に係るサービス対価について、人件費・物価高騰等に対応するために指定管理者制度の物昇対応に準じ増額※する。  ※民間給与実態調査の給与額(平均単価)、鳥取市消費者物価指数を反映 (R9～R10年度：債務負担行為) 31,342千円	15,671  (債務負担行為) 31,342
3 鳥取県立美術館フィールドを活用した文化芸術、観光資源への関心づくり及びPFI事業者の知識、ノウハウを学ぶ人材育成の取組を支援する。 (補助率1/2、上限500千円)	県立美術館フィールドを活用した文化芸術、観光資源への関心づくり及びPFI事業者の知識、ノウハウを学ぶ人材育成の取組を支援する。 (補助率1/2、上限500千円)	500
4 「まんが王国とっとり」関連展示事業	「まんが王国とっとり」紹介コーナーの設置に係る経費	9,509
5 美術館運営費	事務費、美術館関係協会負担金等	9,549
合計		944,701

### 3 その他（改善点等）

・令和2年3月に事業契約した県立美術館整備運営事業（PFI事業）について、昨今の急激かつ著しい人件費及び物価高騰の影響を鑑み、運営業務に係るサービス対価の増額を行う。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
8 目 美術館費

美術館（電話：0858-47-3011）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アートな鳥取 創出事業	〔債務負担行為〕 62,478 131,003	〔債務負担行為〕 58,734 169,001	〔債務負担行為〕 3,744 △37,998	61,665			〔債務負担行為〕 62,478 69,338	
トータルコスト	151,076千円（前年度 247,871千円） [正職員：2.5人]							

### 1 事業の目的、概要

アートに触れる機会の創出やラーニング機能の強化を図り、「アート振興」を進めるとともに、県内外からの誘客を促進する。（事業目標：県立美術館利用者20万人）

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
1 県立美術館 展示事業	開館初年度の盛り上がりを持続し恒常的な集客に繋げるため、通年ベースより規模・レベルを上げた企画展等を開催 (1) 開館2年目企画展開催事業 (58,734千円) ※昨年度債務負担行為設定済 (内容) ポップ・アート展、谷ロジロー展、前田寛治展、ゴジラ展 (2) 開館3年目企画展準備事業 (47,931千円) 等 (内容) 青山剛昌先生の関連や民藝運動に生涯を捧げた吉田璋也展 等	107,056 (債務負担行為) 60,269
2 コレクション を活用した 魅力向上 事業	(1) 屋外設置作品を活用した交流・発信 世界的アーティスト・リクリット制作の屋外彫刻が完成することから、作家本人を招へいし、参加型の交流イベントを開催 (2) 森の芸術祭（岡山県北部）、瀬戸内国際芸術祭との将来的な連携に向けたシンポジウムの開催	3,000
3 「アート・ ラーニン グ・ラボ (ALL)」機 能強化事業	全国に誇れる特徴である、アートを通じた学びの研究室「アート・ラーニング・ラボ」の事業実践を推進するとともに、県内小学4年生バス招待事業「MUSEUM START BUS」を継続し、美術館体験プログラムを実施していく。 また、ユニバーサル美術館促進事業について、 ア 触図を制作し、体験コーナー設置 イ 障がい者・高齢者のための特別鑑賞会 ウ 手話解説動画の導入（実施頻度の増 等） など、誰もが安心して楽しめる鑑賞環境整備の充実を図る。	8,100
4 その他	資料収集、調査研究及び美術館協議会の開催ほか	12,847 (債務負担行為) 2,209
合計		131,003

### 3 その他（改善点等）

- ・開館後、半年を待たず、年間目標である利用者数20万人を達成するなど、多くの方に県立美術館における美術観覧等を楽しんでいただいた。
- ・引き続き、多彩で良質な芸術に親しんでいただく機会を創出していくとともに、年齢や障がいの有無に関わらず、誰もがアートを通じて学び、観賞を楽しめる環境づくりを進めていく。

【参考】これまでの利用者数等

期 間	利用者数	うち、企画展・コレクション展観覧者数
令和7年3月30日～令和8年1月25日	288,510人	143,826人 ※企画展・コレクション展 103,020人 ※コレクション展のみ 40,806人

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
8目 美術館費

美術館（電話：0858-47-3011）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 県立美術館コレクション形成促進事業	241,134	0	241,134				241,134	
トータルコスト	241,937千円（前年度 0千円） [正職員：0.1人]							

1 事業の目的、概要

年間利用者数目標20万人を継続して実現するため、県立美術館の魅力・来場価値の一層の向上に向けて、国内外の優れた美術作品を購入する。  
また、鳥取県美術品取得基金を再始動し、機動的な作品購入によりコレクションの拡充を図っていく。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額																			
1 鳥取県美術品取得基金再開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリロ・ボックスの取扱いに関するアンケート結果（今後も保有・展示を続けて欲しい等の肯定的な意見が約6割）を踏まえ、プリロ・ボックスは県が保有することとする。</li> <li>・本県ゆかりの作品を中心に機動的に作品購入できるだけの現金規模（約1億円）とした上で、基金運用を再開する。</li> </ul> <p>※現在の基金残高：5億円（以下、内訳） プリロ・ボックス等美術作品457,839千円＋現金42,161千円 【現金】42,161千円＋本予算55,787千円（プリロ・ボックス1点） ＝97,948千円</p>	55,787																			
2 美術作品購入	<p>県立美術館において、より多くの方々に多様で良質な美術作品に触れていただく機会を提供するため、プリロ・ボックスに続く目玉作品など国内外の優れた美術作品を獲得し、併せて話題づくり・集客力向上につなげる。（購入のための海外所在作品調査研究旅費（1,900千円）含む）</p> <p>【購入候補作品】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作家名</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○同時代の動向を示す作品 英国を拠点とするストリートアーティスト バンクシー</td> <td>82,720千円</td> </tr> <tr> <td>○戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品 世界的前衛アーティスト オノ・ヨーコ</td> <td>50,127千円</td> </tr> <tr> <td>○戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品 日本を代表する木彫作家 舟越桂（2024没）</td> <td>50,600千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>183,447千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>《令和8年度以降における作品購入の考え方》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>考え方</th> <th>期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般会計</td> <td>コレクション充実・話題づくり</td> <td>R8～10</td> </tr> <tr> <td>基金（1億円）</td> <td>本県ゆかり作品を中心に機動的に購入</td> <td>R8から当面</td> </tr> </tbody> </table>	作家名	予算額	○同時代の動向を示す作品 英国を拠点とするストリートアーティスト バンクシー	82,720千円	○戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品 世界的前衛アーティスト オノ・ヨーコ	50,127千円	○戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品 日本を代表する木彫作家 舟越桂（2024没）	50,600千円	計	183,447千円	区分	考え方	期間	一般会計	コレクション充実・話題づくり	R8～10	基金（1億円）	本県ゆかり作品を中心に機動的に購入	R8から当面	185,347
作家名	予算額																				
○同時代の動向を示す作品 英国を拠点とするストリートアーティスト バンクシー	82,720千円																				
○戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品 世界的前衛アーティスト オノ・ヨーコ	50,127千円																				
○戦後の美術・文化の流れを示す優れた作品 日本を代表する木彫作家 舟越桂（2024没）	50,600千円																				
計	183,447千円																				
区分	考え方	期間																			
一般会計	コレクション充実・話題づくり	R8～10																			
基金（1億円）	本県ゆかり作品を中心に機動的に購入	R8から当面																			
合計		241,134																			

3 その他（改善点等）

プリロ・アンケートの回答状況等(令和7年3月30日～令和8年1月25日)

回答数	①今後も保有・展示を続けてほしい	②もっと説明を充実させて議論が巻き起こるようにしてほしい	③疑問を感じたので保有を続けるかどうか検討してほしい	④その他・無回答
5,668枚	2,008枚 35.4%	1,223枚 21.6%	939枚 16.6%	1,498枚 26.4%

※①②の計 57.0%

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

### 3 款 民生費

#### 1 項 社会福祉費

#### 1 目 社会福祉総務費

人権・同和対策課（内線：7590）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
差別と偏見のない社会づくり推進費	23,546	26,383	△2,837	10,703			12,843	
トータルコスト	66,960千円（前年度 68,173千円）〔正職員：4人、会計年度任用職員：3人〕							

### 1 事業の目的、概要

人権が尊重される社会づくりを推進するため、各種啓発事業、相談支援体制の充実、インターネット上の差別行為等に関する対策等を実施する。

### 2 主な事業内容

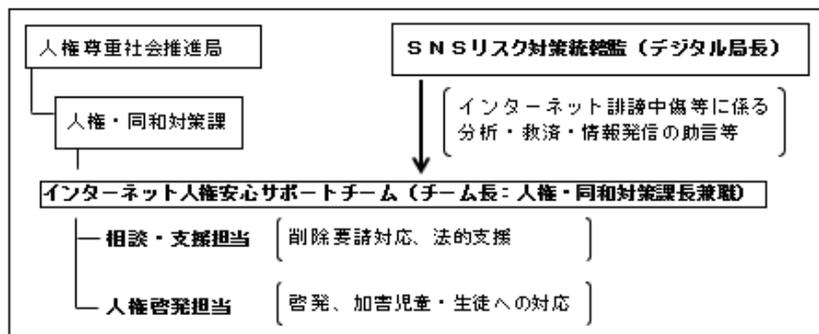
区分	内容	予算額
<b>【相談支援体制の充実】</b>		
人権尊重の社会づくり相談ネットワーク事業	・県内3か所に人権相談窓口を設置 ・専門相談員による相談会を開催 ・県内市町村及び関係団体へのネットモニタリング支援の実施	1,321
相談支援スーパーバイズ事業	・相談支援機能の連携強化、個別相談の連携支援 ・相談支援スキルのレベル確保	640
<b>【人権尊重の社会づくり協議会】</b>		
人権尊重の社会づくり協議会費	・人権尊重の社会づくり協議会の開催（委員数：26名） ・差別事象検討小委員会等の開催	2,448
<b>【インターネット上の差別行為等に関する対策】</b>		
<b>【新規】</b> インターネット上の差別行為等に関する対策事業	投稿の削除要請等の手続における弁護士相談費用の助成（上限50万円）	1,500
	インターネット上の差別行為による被害の発生・拡大防止に向けたインターネットリテラシー向上のための啓発	1,500
<b>【正しい知識の普及啓発】</b>		
人権啓発推進事業	様々な人権問題についての県民の理解と認識を高めるための啓発活動を実施・支援する。 ・人権情報誌「ふらっと」の発行（年2回）、ラジオCM ・市町村・団体等の人権啓発活動支援	13,652
人権研修事業	・学校を対象としたユニバーサルデザイン出前授業 ・企業・団体等を対象とした人権啓発セミナーの開催 ・県職員人権研修（部局・所属研修）	2,485

（終了）鳥取県人権意識調査 3,590千円

### 3 その他（改善点等）

令和8年1月25日の「人権尊重の社会づくり条例」の施行に伴い、「インターネット人権安心サポートチーム」を設置し、体制を整備した。

○インターネット人権安心サポートチーム（17名、専任2名（増員））



<相談・支援担当>

人権・同和対策課、中部県民福祉局中部振興課、西部県民福祉局西部振興課、政策法務課

<人権啓発担当>

人権・同和対策課、教育学術課、家庭支援課、生徒支援・教育相談センター、社会教育課、人権教育課

## 令和 8 年度一般会計当初予算説明資料

3 款 民生費

1 項 社会福祉費

1 目 社会福祉総務費

人権・同和対策課（内線：7592）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
拉致被害者等 総合支援事業	12,870	11,637	1,233	1,306			11,564	
トータルコスト	17,687千円（前年度 16,369千円）〔正職員：0.6人〕							

### 1 事業の目的、概要

北朝鮮による拉致問題は人権侵害問題であり、本県出身の松本京子さんをはじめ全ての拉致被害者等の早期帰国実現を目指すとともに、拉致問題人権学習会や国民のつどいの開催等により県民の拉致問題に対する理解促進を図り、鳥取県拉致問題等啓発月間等における啓発を強化する。

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
鳥取県拉致問題等啓発月間(10月)等の取組	拉致問題解決へ向けた機運醸成のため、各種啓発活動を実施する。 ・ 拉致問題の早期解決を願う国民のつどい開催 ・ 拉致問題啓DVD上映&ミニコンサート開催 ・ 拉致問題啓発パネル展示 ・ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間における活動 ブルーリボンライトアップ、デジタルサイネージ、ラジオスポット、パネル展による啓発 など	2,502
拉致問題人権学習会・拉致問題啓発活動の実施	・ 学校・地域、市町村等と連携・協力し、拉致被害者の家族等を講師とする出前による学習会を開催（15団体程度） ・ 県内学校（小学校・中学校・高校）の全生徒に「拉致問題啓発小冊子」を配布	1,209
拉致被害者等帰国時支援	本県出身の拉致被害者等の帰国に備えた万全の支援体制を構築する。 支援体制の構築に当たっては「北朝鮮による拉致被害者支援連絡協議会」を開催し、関係自治体と連携して進める。	9,159
合 計		12,870

### 3 その他（改善点等）

令和7年12月議会において、北朝鮮拉致問題早期解決促進鳥取県議会議員連盟の提案により「鳥取県拉致問題等の早期解決を目指す取組の推進に関する条例」が制定され、県の責務、学校・教育機関の役割、県民の協力が規定されたことから、拉致問題の全面解決に向け、県民の関心を高め理解促進を図る取組をより一層推進する。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

3 款 民生費  
 1 項 社会福祉費  
 1 目 社会福祉総務費

人権・同和対策課（内線：7121）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
多様な性を認め合う社会づくり推進事業	3,657	3,581	76	340			3,317	
トータルコスト	8,474千円（前年度 8,313千円） [正職員：0.6人]							

1 事業の目的、概要

性の多様性を尊重し、誰もが自分らしく生きることができる社会づくりを進めるため、電話相談事業、啓発事業、人材育成事業、居場所づくり支援事業、「とっとり安心ファミリーシップ制度」の運用等を行う。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
LGBTQ寄り添い電話相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LGBTQ電話相談員の配置 LGBTQ電話相談員が当事者やその家族の生きづらさ、孤立などの解決に向けて電話相談窓口で対応する。</li> <li>・スーパーバイザーの配置 LGBTQ相談員では対応困難な案件に対して、スーパーバイザー（LGBTQ支援団体の共同代表）を配置し、相談員に対応策の助言等を行う。</li> <li>・ケース会議 相談員間での情報共有、対応についての検討を行う。</li> </ul>	1,369
啓発事業	LGBTQに関する理解の促進を図るための講演会の開催や県内企業・地域で開催される研修会等に講師を派遣する。	915
LGBTQ相談・支援人材育成研修	学校、職場などで支援相談を行う人材を育成するための研修を開催する。	600
居場所づくり支援事業	県内3市が行うコミュニティースペースの運営支援を目的として、コミュニティースペースの機能充実及び担当者の運営ノウハウ向上のための学習会開催に要する経費を負担する。	630
「とっとり安心ファミリーシップ制度」の運用	「とっとり安心ファミリーシップ制度」の適切な運用を図る。	143
合計		3,657

令和8年度一般会計当初予算説明資料

3 款 民生費  
 1 項 社会福祉費  
 1 目 社会福祉総務費

人権・同和対策課（内線：7603）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
性暴力防止に係る啓発事業費	1,737	1,912	△175				1,737	
トータルコスト	3,343千円（前年度 3,489千円） [正職員：0.2人]							

1 事業の目的、概要

男性、女性、子ども等への性暴力に関して、関係部局による対策チームを通じた情報共有を図るとともに、チーム等での議論を踏まえて、性暴力の防止に向けて啓発・広報、相談・支援に取り組む。

2 主な事業内容

性暴力対応に係る関連事業の概要 ※県民等への啓発、広報等を本事業で実施

細事業名	内容	予算額
<b>【啓発・広報】</b>		
講演会の開催	男性への性被害等も含めた性暴力に対する対応などについて学ぶための講演会等を年2回程度開催する。 ○対象：保育や教育の関係者、行政担当者等や一般県民向け ○内容 ・性暴力の被害・加害から守るため、その対応、予防 ・子どもを性暴力の被害・加害から守るために大人のすべきこと など	912
性暴力防止に係る啓発動画	性暴力防止に係る啓発動画を作成し、県民への啓発を図る。	825
職員、児童・生徒、保護者等への研修等	・子どもへの性暴力被害防止に関する内容を含む人権同和保育研修の実施【子ども家庭部】 ・児童福祉施設職員等に対する研修実施【子ども家庭部】 ・学校等における学習会及び出前講座において行う相談・支援機関であるクローバーととりの周知【生活環境部】 など	他部局で事業実施
他事業による広報	・人権情報誌ふらっとへの掲載、性暴力被害に関するよりん彩、人権文化センターでの企画展示【地域社会振興部、男女協働未来創造本部】 ・11月の予防月間に合わせたDV防止及び児童虐待防止に関する予防啓発活動【子ども家庭部】 ・学校における生命（いのち）の安全教育推進事業の周知【教育委員会】 ・#8103（性犯罪被害相談電話全国共通番号）の広報 警察本部 など	他部局でも事業実施
<b>【相談・支援】</b>		
関係機関による相談・支援	・人権相談窓口等による相談対応【地域社会振興部、男女協働未来創造本部】 ・性暴力被害を受けた児童及び保護者への相談対応【子ども家庭部】 ・被害発生後の関係機関と連携した相談支援【子ども家庭部】 ・クローバーととりによる24時間365日対応のワンストップによる相談受付及び緊急支援の実施【生活環境部】 ・教育相談電話等による相談対応【教育委員会】 ・各警察署において指定され、研修を受けた被害者支援担当者を配置【警察本部】 など	他部局でも事業実施

令和8年度一般会計当初予算説明資料

3 款 民生費

1 項 社会福祉費

1 目 社会福祉総務費

人権・同和対策課（内線：7583）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県いじめ問題検証委員会運営事業	2,011	2,000	11				2,011	
トータルコスト	2,814千円（前年度 2,789千円） [正職員：0.1人]							

1 事業の目的、概要

県内の学校におけるいじめが原因と考えられる児童・生徒の自死などの重大な事故に関し、学校及び教育委員会以外の第三者的な視点から事実関係の調査・検証を行うため、「鳥取県いじめ問題検証委員会」を設置する。

2 主な事業内容

鳥取県いじめ問題検証委員会の設置・運営

設置事由	(1) いじめ防止対策推進法が規定する重大事態について、知事が調査の必要があると認めるとき (2) 保護者等（保護者及び児童・生徒）、学校設置者からの申し立て、その他知事が必要であると認めるとき
所掌事務	(1) いじめ防止対策推進法に基づく調査 (2) 重大な事故（いじめが原因と考えられる事故で、児童・生徒の死亡、又は心身への重大な障がい等を伴うものをいう。）の原因の検証 (3) 検証結果に基づき学校及び学校設置者へ改善意見 (4) その他設置目的を達成するために必要な事項
設置形態	案件が生じたときに設置
委員数	原則として5人以内 ※弁護士、精神科医、臨床心理士などから知事が任命 ※別に調査事務の補助スタッフを配置（5人以内）
委員任期	案件に係る報告及び改善意見の陳述を終えるまで
検証活動	・学校及び学校設置者、保護者等関係者からの情報収集等を通じ、検証活動を行う。 ・知事に報告するとともに、学校設置者へ検証結果を説明し、改善意見を述べる。

人権問題調査研究啓発事業	35,535	33,256	2,279				35,535	
トータルコスト	36,338千円（前年度 34,045千円） [正職員：0.1人]							

1 事業の目的、概要

人権に関する問題が複雑・多様化する中、真に人権が尊重される社会づくりを推進するため、公益社団法人鳥取県人権文化センターが行う鳥取県人権施策基本方針に基づいた調査・研究・啓発事業等に要する経費を負担する。

2 主な事業内容

支出先：公益社団法人鳥取県人権文化センター

内 容：

<研究事業> 人権問題の調査研究、効果的な人権啓発手法等の研究開発 等

<啓発事業> 人権啓発指導者養成のための講座開催、一般啓発のための各種人権研修への講師派遣 等

昨年度からの変更点：人件費の見直しに伴う負担金額の増

令和8年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

1目 社会福祉総務費

人権・同和対策課（内線：7121）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
鳥取県立人権ひろば21管理運営費	〔債務負担行為〕 1,552 13,787	〔債務負担行為〕 2,478 12,964	〔債務負担行為〕 △926 823				〔債務負担行為〕 1,552 10,000
トータルコスト	16,999千円（前年度 16,119千円）〔正職員：0.4人〕						

1 事業の目的、概要

人権尊重の理念に対する理解を深める機会を提供することを目的として設置されている「鳥取県立人権ひろば21(ふらっと)」について、公益社団法人鳥取県人権文化センターを指定管理者として指定し、管理運営を行う。

2 主な事業内容

公益社団法人鳥取県人権文化センターを指定管理者に指定して管理運営

指定期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

細事業名	内容
指定管理料	13,733千円（うち見直しによる算定額1,760千円） ・人権ライブラリー等の管理運営（図書、映像資料等の追加整備・貸出し） ・人権ひろば21の施設設備の維持管理
指定管理候補者審査・運営評価委員会の開催	54千円 指定管理業務点検要領に基づき中間評価を実施するため、運営評価委員会を開催する。

※R9～R10の指定管理料も増額するため、債務負担行為を設定（1,552千円）

【参考】指定管理料の見直しの考え方

- ・人件費：各年度の民間給与実態調査を基に積算した人件費が、予算設定時（再算定を行った場合は再算定時）と比較して施設ごとに±3%以上の増減があった場合、再算定を行う。
- ・物件費等：予算設定時（再算定を行った場合は再算定時）と比較して、鳥取市物価指数に±3%以上の増減があった場合、再算定を行う。
- ・光熱費：物価指数を考慮して算定した額を毎年度別枠で措置する。

部落差別解消推進事業	6,163	6,163	0	230			5,933
トータルコスト	15,798千円（前年度 15,627千円）〔正職員：1.2人〕						

1 事業の目的、概要

啓発活動の実施、隣保館相談支援機能の強化、関係団体の活動支援等により、部落差別の解消を図る。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
部落差別解消推進に係る啓発広報	・部落解放月間（7月10日～8月9日）における街頭啓発 ・インターネット上の差別書込みに係る啓発広報 ・身元調査お断りに関する啓発活動 ・「宅地建物取引上の人権問題に関する鳥取県行動指針」に基づく、宅建業者や県民に対する宅地建物取引上の人権問題に係る啓発活動	1,527
隣保館相談支援機能強化事業	地域の社会的課題や困難を抱えた人（世帯）の把握と支援を行うための体制整備、隣保館職員のスキルアップを実施 ・隣保館相談支援機能強化アドバイザー派遣 ・隣保事業ソーシャルワーカー養成研修（鳥取県隣保館連絡協議会へ委託）	460
各団体に対する補助金等	部落差別解決のために関係団体が行う啓発及び研修等の活動に対する支援	
	区分	予算額 補助率
	部落解放同盟鳥取県連合会補助金	2,300 県1/2
	鳥取県隣保館連絡協議会補助金	1,100 県1/2
	鳥取県同和対策協議会補助金	126 定額
	全国隣保館連絡協議会負担金	550 ー
	部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金	100 ー
合計		4,176
合計		6,163

令和8年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

1目 社会福祉総務費

人権・同和対策課（内線：7074）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
専修学校等奨学資金事業	372	621	△249				372	
トータルコスト	6,270千円（前年度 6,272千円） [正職員：0.5人、会計年度任用職員：0.5人]							

1 事業の目的、概要

平成21年度で貸付を終了した専修学校等奨学資金貸付金の返還に係る業務及び未納者への督促業務を行う。

地方改善事業	181,354	179,895	1,459	120,834			60,520	
トータルコスト	188,857千円（前年度 187,123千円） [正職員：0.7人、会計年度任用職員：0.5人]							

1 事業の目的、概要

地域住民の福祉の向上、人権啓発のための住民交流の拠点施設として、市町村が設置し運営する隣保館等の活動に要する経費に対して助成を行う。

2 主な事業内容

区分	実施館数	予算額	補助率等	事業主体
基本事業 隣保館運営事業	26	169,064	3/4（国1/2 県1/4）	市町村
選択事業 隣保館デイサービス事業	7	5,225		
地域交流促進事業	17	5,075		
相談機能強化事業	1	652		
広域隣保活動事業	1	980		
小計		180,996		
地方改善事業指導監督事務費	-	358	1/2（国）	県
隣保館等施設整備費	0		3/4（国1/2 県1/4）	市町村
合計		181,354		

職員人件費 （社会福祉総務費）	99,667	80,254	19,413	571		<雑入> 72	99,024	
--------------------	--------	--------	--------	-----	--	------------	--------	--

一般職員11名分、会計年度任用職員4名分の人件費である。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
5目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7905）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
キャンプ・合宿受入促進事業	66,477	41,941	24,536			<雑入> 3,440	63,037	
トータルコスト	81,732千円（前年度 64,813千円）〔正職員：1.9人〕							

### 1 事業の目的、概要

スポーツのキャンプや合宿の受入れを通じて、聖地としての鳥取県PR、交流人口の拡大や地域活性化を図るため、交流事業や受入拠点となるJOC認定競技別強化センター等の受入環境等を整備する。

### 2 主な事業内容

#### (1) キャンプ・合宿誘致

細事業名	内容	予算額
ジャマイカ交流事業	北京2027世界陸上でのジャマイカ選手団事前キャンプ誘致に向け、各種交流事業を開催。 ・布勢スプリントへのジャマイカ選手の招聘 【新規】ジャマイカへの陸上指導者等の交流団派遣（8日間程度を想定）	14,536
国内外チーム強化合宿誘致	国内外トップチームの合宿受入等を通じた「聖地化」や地域活性化を行う団体を支援。 ・補助対象者：市町村または市町村を中心とする実施委員会 ・補助率1/2、上限800千円	800
【新規】合宿誘致の機運醸成フォーラム	米子アリーナ完成を控え、「とっとりスポーツリゾート推進連絡協議会」と連携して、合宿受入の機運醸成や合宿等を通じた地域活性化を推進するためのフォーラムを開催。	1,500

#### (2) 受入環境整備

細事業名	内容	予算額
JOC認定競技別強化センター支援事業	合宿等の受入拠点であるJOC認定競技別強化センターの機能維持・向上を図るため、体育指導員の人件費、備品の購入等を支援。 <JOC認定競技別強化センター> 【新規】米子市錦海ポートコース（ローイング、R7年認定） ※R7年10月に新たに認定されたことに伴い、R8年度から体育指導員を配置 ・倉吉体育文化会館（スポーツクライミング、H29年認定） ・境港公共マリーナ（セーリング、H26年認定）	48,489
通訳ボランティア育成事業	北京2027世界陸上に向けたジャマイカ選手団事前キャンプやワールドマスターズゲームズ2027関西を見据え、海外選手受入のための通訳ボランティアを育成。	1,152

### 3 その他（改善点等）

- 東京2025世界陸上ジャマイカ選手団事前キャンプ及び東京2025デフリンピック韓国選手団事前キャンプ（ボウリング、柔道）を通じ、交流人口の拡大・地域活性化が図られた。
- ジャマイカ陸上競技連盟など関係団体と引き続き良好な関係を維持するとともに、本県の優れた競技施設の機能向上やボランティア育成等の環境整備を推進し、北京2027世界陸上事前キャンプ誘致や合宿誘致を促進する。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
5目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7905）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
トップアスリート強化支援事業	51,100	46,900	4,200				51,100	
トータルコスト	52,706千円（前年度 48,477千円） [正職員：0.2人]							

1 事業の目的、概要

本県ゆかりのアスリートが世界の大舞台で活躍することで、多くの県民に夢や勇気や希望がもたらされるよう、2026年（令和8年）に愛知県で開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会のほか、ロサンゼルスオリンピック・パラリンピック（2028年（令和10年））、デフリンピック（2029（令和11年））、アテネ）への出場が期待される選手や各種国際大会出場を目指す選手の強化費等を支援する。

2 主な事業内容

区分	内容	予算額
オリ・パラトップアスリート強化支援事業	本県ゆかりの選手が、2026年に愛知県で開催されるアジア競技大会・アジアパラ競技大会及び2028年のロサンゼルスオリンピック・パラリンピックで日本代表として出場するために必要な強化費を支援する。（補助率10/10、上限3,000千円 ※特に認められる場合は5,000千円）	25,000
デフリンピックトップアスリート支援事業	本県ゆかりの選手が、2029年にアテネで開催されるデフリンピック等で日本代表選手として出場するために必要な強化費を支援する。 ・デフリンピックで活躍が見込まれる選手強化費（補助率10/10、上限2,000千円） ・世界大会等で活躍が見込まれる選手強化費（補助率10/10）	10,000
世界で活躍するアスリート遠征費支援事業	本県ゆかりの選手及び指導者が日本代表として国際大会へ参加するための遠征費を支援する。（補助率10/10、上限600千円）	14,000
優秀選手競技活動支援事業	本県ゆかりの優秀選手（過去3年間に日本代表として国際大会への出場実績がある等）の競技活動費（競技用具購入費等）を支援する。（補助率10/10、上限500千円）	1,000
優秀指導者招聘事業	世界トップレベルの優秀な指導者や元オリンピック選手等を招聘して行う強化練習会等の経費を支援する。（補助率10/10、上限300千円）	900
夢！輝き情報発信事業	オリンピックやパラリンピック選手等を招聘して行うスポーツ教室や交流会等の経費を支援する。（補助率10/10、上限200千円）	200
	合計	51,100

3 その他（改善点等）

- 2025年7月に開催された世界水泳選手権（シンガポール）では、三上紗也可選手が女子飛板飛込で5位入賞、11月に開催された東京2025デフリンピックでは、鳥取県ゆかりの選手4名（前島博之選手（ゴルフ）、小林優太選手（ハンドボール）、佐々木昂選手（陸上：5000m、10000m）、中村洋三選手（ボウリング））、全員が入賞を果たす快挙を成し遂げた。
- その他の国際大会に出場した16種目44名を支援し、そのうち8種目16名で入賞するなど、成果が現れている。

<令和7年度の主な国際大会入賞者（本事業による支援選手）>

選手名	種目	主な大会成績
吉田 奏太（倉吉西高3年）	自転車競技	アジアジュニア選手権優勝（ポイントレース）
酒井 琳太郎（八頭高3年）	ホッケー	ユースアジアカップ優勝
石田 航大（八頭中3年）	ホッケー	ユース国際グリフォンカップ3位
作野 剣信（米子高1年）	ボクシング	J17アジア選手権3位
岡本 成世（鳥取城北3年）	ローイング	アジアローイングジュニアチャンピオンシップ・クオドルプル4位
藤田 楓（鳥取城北3年）	スポーツクライミング	ユース世界選手権5位

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
5 目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7905）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
鳥取ジュニアアスリート事業	25,065	24,618	447	8,642		<基金繰入金> 6,921	9,502
トータルコスト	33,897千円（前年度 33,294千円） [正職員：1.1人]						

1 事業の目的、概要

オリンピック・パラリンピックをはじめ、世界や国内の大舞台に挑戦する意欲のあるジュニア・パラジュニアの夢を後押しするため、競技団体等と協調してその発掘・育成を推進する。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
鳥取ジュニアアスリート発掘事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジュニアアスリート候補生への共通プログラム（メンタル教育、栄養指導、体力トレーニング）、各種競技体験による競技適性の分析、トライアウト（高1まで）等により、ジュニアアスリートを発掘する。</li> <li>対象競技を18→20競技に拡大し、より幅広いジャンルで育成する環境を構築する。</li> <li>県内移住を前提とする県外ジュニアの応募の促進を図る。</li> </ul>	10,815
鳥取ジュニアアスリート育成強化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>各競技団体が行う専任コーチによる指導、強化合宿等に要する経費を支援し、集中的な強化による、国際大会や国民スポーツ大会などの全国大会等での成績向上を図る。</li> </ul>	14,250
合計		25,065

<対象競技>

アーチェリー、自転車、ボート、ホッケー、ライフル射撃、レスリング、セーリング、カヌー、スポーツクライミング、空手、トライアスロン、フェンシング、ボクシング、水球、柔道、テニス、馬術、ボウリング（今回追加）ゴルフ、相撲

<対象競技の考え方（以下のいずれかを満たす競技）>

- ・競技団体に選手育成のための体制や施設が整っていること。
- ・様々な競技を経験し、高校から競技を絞っても優れた技術の習得が可能であること。
- ・過去に本県からオリンピック選手あるいは日本代表選手を輩出していること。
- ・競技人口・中学校における部活動数や部員数が少ないこと。

<発掘・育成の流れ>

- ①【小4】書類・体力テストにより候補生募集・選考
- ②【小5】共通プログラム・体験プログラムへの参加、競技種目の決定を経て、県が認定
- ③【小5～高1】②以外を対象に競技別トライアウトを実施・選考して県が認定
- ④②・③の県が認定した選手を各競技団体の指導下において育成

3 その他（改善点等）

ジュニアアスリート出身選手が日本代表として各種国際大会で入賞を果たすとともに、国民スポーツ大会をはじめとする全国大会等でも上位入賞するなど、着実に成果が現れている。

<令和7年度の成績例>

選手名	種目	主な大会成績
吉田 奏太（倉吉西高3年）	自転車競技	アジアジュニア選手権優勝（ポイントレース） インターハイ優勝（ロードレース）
岡本 成世（鳥取城北3年）	ローイング	アジアローイングジュニアチャンピオンシップ・クォドルプル4位 滋賀国スポ優勝（シングルスカル）
藤田 楓（鳥取城北高3年）	スポーツクライミング	ユース世界選手権5位、ユースアジア選手権5位
作野 剣信（米子高1年）	ボクシング	J17アジア選手権3位
森山 伊織（境高3年）	セーリング（420級）	滋賀国スポ優勝、インターハイ3位
吉本 雅歩（鳥取敬愛3年）	ライフル射撃（BP60J）	全日本高校生スポーツ射撃選手権優勝
船澤 奈菜（米子東高3年）	セーリング（ILCA6級）	ユースワールド出場、滋賀国スポ準優勝
石田 堯典（東郷小6年）	カヌー（カヤックシングル）	全国少年少女カヌー大会優勝

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
 2 項 企画費  
 5 目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7905）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
競技力向上対策事業	284,684	276,566	8,118			<基金繰入金> 42,654	242,030
トータルコスト	289,878千円（前年度 281,639千円） [正職員：0.6人、会計年度任用職員：0.1人]						

### 1 事業の目的、概要

本県ゆかりの選手世界の舞台や国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会等での活躍により、県民に夢や元気がもたらされるよう、競技力向上に関する各種取組を行う。

### 2 主な事業内容

#### (1) 競技力向上対策

細事業名	内容	予算額
ジュニア期の競技力向上対策	ジュニア競技者が国内外の大会で活躍できるよう、競技団体やクラブチーム等への強化支援（指導者謝金等）や指導者講習会等を実施する。	99,933
成年期の競技力向上対策	本県（出身）の成年競技者が全国大会等で活躍できるよう、強化支援（旅費等）するほか、優秀選手の県内企業への受入支援を行う。	31,018
特別指定競技強化	国スポにおいて高配点の団体競技や、強化体制の充実により再興が図られる競技を指定し、県内外の強化合宿等に要する経費を支援する。	13,033
条件整備	競技者が力を発揮できるよう、医科学サポートや強化練習用の消耗品・備品の整備等を行う。	67,744
人件費等	本事業を委託執行するための鳥取県スポーツ協会の人件費（4名）、会議開催経費等	28,707
合計		240,435

#### (2) 障がい者アスリートの育成・支援

細事業名	内容	予算額
個人競技の競技力向上	個人競技者の競技成績を基に個別に強化指定し、合宿や県外遠征等に要する経費を支援する。	15,374
団体競技の競技力向上	団体競技の競技成績を基に強化指定し、チームの練習会や合宿等に要する経費を支援する。	3,000
医科学サポート	競技力の底上げを図るため、メンタルトレーニングや栄養講習会を開催するなど医科学面から競技者を支援する。	665
次代を担うアスリートの発掘・育成	競技体験会や講演会、パラリンピアンとの交流会等を実施することにより、将来的に競技者となり得る者の発掘・育成を行う。	1,990
県立特別支援学校運動部の強化	パラスポーツの競技者発掘や育成のため、県立特別支援学校運動部を強化指定し、指導者派遣や遠征費、物品購入等に要する経費を支援する。	4,677
指導者の指導力向上	各競技指導者のコーチング力強化のため、研修会経費等を支援する。	1,000
合計		26,706

#### (3) 競技力向上のための指導者の確保

細事業名	内容	予算額
競技力向上のための指導者確保	競技団体の状況に応じた指導者の確保・配置を行う。（鳥取県スポーツ協会のスポーツ指導員2名、県内私立高校教職員1名）	17,543

### 3 その他（改善点等）

- 令和7年度の滋賀国スポでは、ジュニアアスリート出身選手の活躍、自転車、相撲、セーリング、ローイング等の活躍により競技得点459点（天皇杯34位）と、二巡目国体では最高となる競技得点を獲得した。
- 障がい者スポーツにおいては、アジアユースパラ競技大会に日本代表として本県出身の選手2名が出場するなど、世界で活躍する若い世代が着実に力をつけてきている。
- 国スポでの競技得点480点以上の獲得、男女総合成績（天皇杯）30位台及び全国障害者スポーツ大会でのメダル獲得（3位以上入賞）率70%以上の定着に向けて、引き続き支援等を行う。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
5 目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7905）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会事業	199,607	134,808	64,799				199,607	
トータルコスト	213,157千円（前年度 148,005千円） [正職員：1.5人、会計年度任用職員：0.4人]							

### 1 事業の目的、概要

国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会への鳥取県選手団の派遣及び令和15年に鳥取県で開催予定の第87回国民スポーツ大会・第32回全国障害者スポーツ大会に向けた準備を進める。

### 2 主な事業内容

区分	内容	予算額
国民スポーツ大会鳥取県選手団派遣等事業	国民スポーツ大会（本大会（9月～10月、青森県）、冬季大会（2月、岩手県ほか））及び中国ブロック大会への鳥取県選手団の派遣、県予選会を実施。（鳥取県スポーツ協会へ委託）	141,791
全国障害者スポーツ大会派遣等事業	全国障害者スポーツ大会（10月、青森県）への鳥取県選手団の派遣、中四国ブロック予選会及び強化練習会を実施。（鳥取県障がい者スポーツ協会に委託）	46,278
優秀成績者・団体の表彰	国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会知事表彰、鳥取県スポーツ顕彰を実施。	1,538
国スポ・全スポ大会準備委員会実施事業	令和15年に開催される鳥取県での国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて市町村等関係者と各種調整を行うとともに、大会の愛称・スローガンを募集。	10,000
合計		199,607

※国スポ・全スポ派遣事業費は、令和8年度が青森県開催になったことによる選手団派遣費の増額。  
国スポ・全スポ大会準備委員会実施事業は、新たに愛称・スローガン等募集を行うことによる増額。

### 3 その他（改善点等）

令和7年度は、滋賀県へ鳥取県選手団を派遣し、好成績を収めた。（天皇杯34位）  
（2巡目の大会においては、最高得点を獲得し、最高順位となった令和6年度佐賀大会の33位に次ぐ成績）

#### 【令和7年度本大会（滋賀県）参加状況等】

- ・第79回国民スポーツ大会：監督・選手・トレーナー 439名派遣、天皇杯34位
- ・第24回全国障害者スポーツ大会：監督・選手・トレーナー 48名派遣、メダル獲得率71.0%

#### 【令和7年度の知事表彰等の状況】

- ・第79回国民スポーツ大会知事表彰 127名受賞（1位から8位までの競技者及びその監督等）
- ・第24回全国障害者スポーツ大会知事表彰 20名受賞（1位から3位までの競技者及びその監督等）

#### 【国民スポーツ大会の在り方見直しの状況（令和8年1月時点）】

- ・日本スポーツ協会内の国スポ改革タスクフォース（R7.6設置）において、開催時期、期間の弾力化及び競技施設基準の見直し等の審議を継続中  
（9月と11月の2回開催、令和9年6月まで計8回開催され、改革案がとりまとめられる予定。）

※方向性が示されたものから順次、公表予定

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
5 目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7235）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取型障がい者スポーツ推進事業	31,834	29,379	2,455	663			31,171	
トータルコスト	36,651千円（前年度 34,111千円） [正職員：0.6人]							

### 1 事業の目的、概要

県内各地で誰もがスポーツに親しめる環境づくりを推進するため、鳥取ユニバーサルスポーツセンター「ノバリア」等を拠点とし、初めてスポーツに取り組む方々に寄り添ったスポーツ教室の開催とともに障がい者スポーツを支えるガイド人材を育成する。

### 2 主な事業内容

(1) 障がい者スポーツを支える人材育成・施設運営（（一社）鳥取県障がい者スポーツ協会へ委託・補助）

細事業名	内容	予算額
スポーツ教室の開催、施設運営及び移動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノバリア、中部及び西部のサテライトセンターにおいて開催する各種スポーツ・レクリエーション教室、研修会等の企画立案及び運営に要する経費（施設管理費、備品購入費等）を支援する。</li> <li>・各種スポーツ教室等に合わせて各地域の拠点となる駅等と施設間をUDタクシーで運行し、移動に必要となる経費を支援する。 （中部：倉吉スポーツセンター、西部：米子サン・アビリティーズ）</li> </ul>	25,316
人材の育成・活用	障がい者スポーツを支えるガイド人材を養成研修やフォローアップ研修等により育成し、県内各圏域におけるスポーツ教室等へ派遣する。	3,728

(2) 運動・スポーツの環境づくり

細事業名	内容	予算額
特別支援学校を活用した運動・スポーツ機会の提供	特別支援学校の生徒が、在学中から卒業後まで一貫して運動・スポーツできる環境を整備するため、特別支援学校等においてパラスポーツ体験教室等を開催する。	2,790

### 3 その他（改善点等）

ノバリアは、年間1万5千人を超える多くの方々に利用されている。また、障がい者スポーツを支えるガイド人材も延べ500名を超えるなど育成が進んでおり、中部・西部のサテライトセンターを含め障がい者スポーツ教室を全県で展開している。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
5目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7919）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
グラウンド・ゴルフ聖地化推進事業	7,601	8,580	△979				7,601	
トータルコスト	10,813千円（前年度 11,735千円）〔正職員：0.4人〕							

1 事業の目的、概要

本県発祥のグラウンド・ゴルフの魅力をもっと高めるため、国内外・多世代への競技普及や拠点施設の魅力向上を推進する。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
グラウンド・ゴルフスクール活動	県グラウンド・ゴルフ協会の指導のもと、県内の小学校（親子会、学校行事等）でプレー体験などの「スクール活動」を行い、低学年からの普及を促進する。	115
グラウンド・ゴルフ魅力向上	施設の魅力向上や国内外への情報発信に対して支援する。 ・補助対象者：市町村、競技団体、県内事業者 ・補助率：1/2 ・補助対象事業： （1）旅行商品等造成や国内外の大会等での情報発信等（上限200千円） （2）拠点施設の魅力向上（多言語化等）（上限4,000千円）	4,700
国際大会の県内開催（湯梨浜町と共催）	グラウンド・ゴルフ国際大会の開催経費の一部を負担する。 ・実施主体：グラウンド・ゴルフ国際大会実行委員会 ・負担割合：県：湯梨浜町＝1：1 ・開催期日：5月30日、31日 ・開催場所：グラウンド・ゴルフのふる里公園「潮風の丘とまり」	2,000
国際交流を踏まえた海外PR活動	ハンガリーで開催される国際グラウンド・ゴルフ選手権ヨーロッパオープン2026を訪問して、同国をはじめ参加国との国際交流の拡大及びワールドマスターズゲームズ2027関西のPRを行う。 ・名称：国際グラウンド・ゴルフ選手権ヨーロッパオープン2026 ・期日：10月3日、4日 ・会場：ハンガリー	786
合計		7,601

3 その他（改善点等）

湯梨浜町と共催しているグラウンド・ゴルフ国際大会は、2015年の大会創設以来国内外から多くの方が参加しており、令和7年に開催された同大会には183名が参加した。そのうち100名はスペイン、韓国、モンゴル、オーストラリアなど海外7か国からの参加者であり、広く競技の普及が進んでいる。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
5目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7919）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
生涯スポーツ推進事業	44,350	39,380	4,970	1,222			43,128	
トータルコスト	53,082千円（前年度 47,844千円）〔正職員：0.9人、会計年度任用職員：0.4人〕							

1 事業の目的、概要

生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するため、鳥取県民スポーツレクリエーション祭、スポーツ国際交流及びユニバーサルスポーツ教室等の開催のほか、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員リーダーの育成など、誰もが日常的にスポーツ活動を行える環境づくりを行う。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
広域スポーツセンター事業	○鳥取県スポーツ協会への委託 ・鳥取県民スポーツレクリエーション祭開催（38競技） ・総合型地域スポーツクラブ運営改善（指導者派遣、資格取得講習会等） ・江原道とのスポーツ交流（バスケットボール、フェンシング、卓球を予定） ・広域スポーツセンター運営費（人件費） ・親子向けスポーツ教室、年齢・性別・障がいの有無を問わないユニバーサルスポーツ教室の開催	30,528
	○鳥取県障がい者スポーツ協会への委託・補助 ・障がい者が気軽に参加できるスポーツ教室等の開催 ・障がいの有無に関わらず誰でも参加できるスポーツイベント開催 ・江原道との障がい者スポーツ交流	4,765
生涯スポーツ活動支援事業	・鳥取県スポーツ推進委員協議会が主催する研究大会開催支援（定額：190千円） ・鳥取県スポーツ推進委員リーダー養成研修への派遣 ・ガイナレ鳥取サッカースクール運営補助金（補助率1/2、上限2,525千円） ・健康体操「咲花笑（さかえ）」（ねんりんピックにより創設）の普及のためのイベント等への指導者派遣 ・アウトドアスポーツの安全啓発の推進のイベント開催（鳥取県アウトドアスポーツ協議会への委託）	6,857
スポトピアとっとり推進事業	・オリンピック等を招聘したスポーツイベント開催（補助率1/2、上限500千円） ・県内で独自に行われてきたスポーツの支援（補助率1/2、上限500千円（1回目）、300千円（2回目））	2,200
合計		44,350

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
5目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7919）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大規模スポーツ大会開催等による鳥取の魅力発信事業	37,179	35,941	1,238	1,474			35,705	
トータルコスト	46,338千円（前年度 44,852千円） [正職員：1人、会計年度任用職員：0.3人]							

1 事業の目的、概要

鳥取県で生まれ育った全国的なスポーツ大会及びトップチームの活動を通じて鳥取県の魅力を発信するため、その運営費の一部を支援する。

2 主な事業内容

大会名等	対象経費	実施主体	補助率	予算額
都道府県対抗駅伝	選手強化費	鳥取陸上競技協会	定額	1,600
日本海駅伝競走大会	大会開催経費	新日本海新聞社	定額	1,000
鳥取マラソン	大会開催経費 ※県:鳥取市=1:1	鳥取マラソン実行委員会	定額	7,500
鳥取さわやか車いす&湖山池マラソン大会	大会開催経費	鳥取さわやか車いす&湖山池マラソン大会実行委員会	定額	2,949
スポーツクライミングボルダージュス日本選手権大会	大会開催経費	日本山岳・スポーツクライミング協会	定額	915
スポーツクライミング・ジャパンツアー倉吉大会	大会開催経費 ※県:倉吉市=1:1	日本山岳・スポーツクライミング協会、鳥取県山岳・スポーツクライミング協会	定額	330
Tottori Speed Cup (クライミング)	大会開催経費	鳥取県山岳・スポーツクライミング協会	定額	85
コースタルローイング大会	大会開催経費 ※県:岩美町=1:1	コースタルローイング大会実行委員会	定額	1,000
アジア国際ユースサッカー大会	大会開催経費	鳥取県サッカー協会	定額	500
ガイナレ鳥取Jリーグアウェイゲームを通じた鳥取の知名度向上	アウェイゲーム遠征費	株式会社S C鳥取	1/2	18,500
トップリーグを通じた鳥取県の知名度向上	遠征費	NPO法人Cheerful鳥取	1/2	2,800
合計				37,179

プロスポーツチーム等と連携した地域振興・元気づくり推進事業	7,300	7,300	0				7,300	
トータルコスト	11,265千円（前年度 11,138千円） [正職員：0.4人、会計年度任用職員：0.2人]							

1 事業の目的、概要

県内プロスポーツチーム等との協働により、子どもたちがスポーツに親しむ機会を提供する。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
ガイナレ鳥取との協働事業（芝生化とスポーツを通じた地域づくり事業）	芝生化の理解促進やスポーツを通じた地域コミュニティの活性化を図るため、ガイナレ鳥取の選手等が鳥取方式で芝生化された小学校や保育園など県内各地を訪問し、体を動かして楽しめる様々な遊びやサッカー教室等を開催する。	5,000
チアフル鳥取との協働事業	バドミントンのトップリーグに所属するチアフル鳥取と協働し、スポーツ教室や鳥取県のPR活動などを行う。	1,300
プロスポーツチームへの県民活動応援モデル事業補助金	地元プロスポーツチーム等の試合会場により多くの県民に足を運んでもらうなど応援機運醸成に取り組むスポンサーやサポーターなどの活動を支援する。（補助率10/10、上限500千円）	1,000
合計		7,300

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
5目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7919）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県ゆかりのアスリートを活用した特別アドバイザー事業	1,500	1,500	0				1,500	
トータルコスト	11,035千円（前年度 10,753千円） [正職員：1人、会計年度任用職員：0.4人]							

1 事業の目的、概要

競技力向上及び競技人口拡大を図るため、スポーツ分野において顕著な成績を収められた鳥取県ゆかりのアスリートに「鳥取県スポーツ特別アドバイザー」を委嘱し、その「指導力」と「人脈」を活かして、運動部活動の指導や指導者等への講習を行う。

2 主な事業内容

事業名	内容	予算額
特別アドバイザー派遣事業	鳥取県ゆかりのアスリートに「鳥取県スポーツ特別アドバイザー」を委嘱し、アドバイザーの「指導力」や「人脈」を活かした部活動の指導や指導者等への講習会を開催し、競技力向上、競技人口の拡大を図る。 ・高校部活動や講習会等へのアドバイザー派遣 ・県外学校との強化練習試合誘致補助金（補助率1/2、上限：300千円）	1,500

3 その他（改善点等）

令和5年度に川口和久氏（野球）を「鳥取県スポーツ特別アドバイザー」に委嘱し、派遣指導等を実施した結果、令和6年度には指導校が中国大会で準優勝、全国選抜高校野球大会へ出場するなど成果が現れている。引き続きアドバイザーの高校派遣や指導者等への講習会の実施を通じ、競技力向上を目指す。

米子アリーナ整備事業	1,023,839	627,818	396,021	<460,500> 921,000		102,839	県費負担 563,339	
トータルコスト	1,027,051千円（前年度 630,973千円） [正職員：0.4人]							

1 事業の目的、概要

鳥取県立米子産業体育館、米子市民体育館、米子市営武道場を統合し、民間活力やノウハウを活用するPFI手法により、県・米子市共同で新たに米子アリーナを設置する。

2 主な事業内容

米子アリーナ整備に係る経費を負担する。  
R8年度は基礎工事を完了し、建屋工事にとりかかることから工事費が増額  
※地方自治法に基づく事務委託により米子市が契約締結、県は米子市に負担金を拠出。  
県負担割合：1/2

- (1) 契約期間  
令和6年3月19日から令和24年3月31日まで（運営期間15年を含む）
- (2) 業務範囲  
・施設整備業務（設計・建設業務等）  
・維持管理業務（アリーナの運営、保守管理、修繕等）（R9～R23）

3 その他（改善点等）

令和6年3月にPFI事業者と契約を締結し、競技団体や福祉団体等と意見交換を行い、意見をとり入れながら、令和6年10月に基本設計業務を終了し、令和7年5月に実施設計業務を完了。令和7年6月より建設に着手しており、引き続き供用開始に向けて整備を進める。

(注) 起債欄の<>書きは交付税措置額を除いた額である。  
県費負担額は、起債欄の<>書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
5目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7919）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツ環境整備事業	151,729	395,148	△243,419		<63,000> 126,000	<財産収入> 9	25,720	県費負担 88,720
トータルコスト	158,152千円（前年度 401,458千円）〔正職員：0.8人〕							

1 事業の目的、概要

スポーツ活動の拠点としてふさわしい環境の整備を図るため、県立社会体育施設などスポーツ施設の改修等を行う。

2 主な事業内容

(1) 体育施設改修費

県立社会体育施設の維持、老朽化に伴う改修工事を行う。

施設名	内容	予算額
鳥取産業体育館・鳥取屋内プール	プールのトラス・天井等の改修、空調・ダクト更新、分電盤更新、屋根防水シート改修	37,570
倉吉体育文化会館	会館棟自動ドア更新	880
県立武道館	ラインファン（空調機器）更新、弓道場シャッター改修、発電機蓄電池交換	84,787
東山水泳場	屋外プール北側歩廊改修、時計修繕、50mプールコースライン塗装、下水道整備（敷地内）	17,272
ライフル射撃場	管理棟照明LED化改修	430
合計		140,939

※鳥取産業体育館の床改修工事等が完了したことに伴い減額。

(2) 「鳥取方式」による芝生化を通じたスポーツ環境の整備促進

子どもたちが自由に運動したり遊んだりできるスポーツ環境を整備するため、保育所等園庭・小学校校庭の芝生化を支援する。

細事業名	内容	予算額
園庭・校庭の芝生化への支援	・私立保育所等の園庭芝生化への支援（補助率10/10、上限2,000千円） ・小学校の校庭芝生化への支援（補助率10/10、上限700円/㎡）	10,000
芝生化促進技術アドバイス	鳥取方式の芝生化を推進するため、専門的なノウハウを有するNPO法人「グリーンスポーツ鳥取」をアドバイザーとして、技術指導を行う。	790
合計		10,790

3 その他（改善点等）

芝生化については、令和7年度に新たに保育園1園を支援。県内保育所及び幼稚園の約5割、県内小学校の約3割が鳥取方式により芝生化されている。

(注) 起債欄の<>書きは交付税措置額を除いた額である。  
県費負担額は、起債欄の<>書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
 2 項 企画費  
 5 目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7919）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳			備考
				国庫支出金	起債	その他	
スポーツ推進 基盤運営費	〔債務負担行為〕 7,326 652,676	〔債務負担行為〕 37,246 630,992	〔債務負担行為〕 △29,920 21,684	66,460		〔債務負担行為〕 7,326 586,216	
トータルコスト	663,768千円（前年度 641,716千円）〔正職員：1.1人、会計年度任用職員：0.6人〕						

### 1 事業の目的、概要

本県のスポーツの振興を図る上で基盤となる県立社会体育施設等の円滑な運営に資するため、本県の主要なスポーツの普及・振興団体に対しその活動運営費を支援するとともに、指定管理者に対して管理運営業務を委託する。

また、本県のスポーツの推進に関する重要事項を調査・審議するため、県スポーツ審議会等を開催する。

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
社会体育施設運営費	・県立社会体育施設指定管理料（376,153千円） ・利用料（冷房含む）減免、学生料金に係る補填等（8,550千円） ・備品購入等（22,192千円）	406,895
鳥取県スポーツ協会運営事業	（公財）鳥取県スポーツ協会の管理運営経費（人件費、事務費）を支援する。	146,060
鳥取県障がい者スポーツ協会運営事業	（一社）鳥取県障がい者スポーツ協会の運営に必要な経費（人件費、事務費）を支援する。	68,742
倉吉自転車競技場運営費	（公財）鳥取県スポーツ協会が行う施設管理運営経費（人件費、事務費）を支援する。	10,806
湖山・米子艇庫整備事業費	鳥取県ローイング協会が行う施設管理運営経費（人件費、事務費）を支援する。	3,298
とっとりスポーツスクエア管理運営事業	県民体育館等に鳥取県にゆかりのあるスポーツ選手、スポーツの歴史などを紹介する展示スペースを設置する。	500
スポーツ審議会等開催経費	本県のスポーツ推進に関する重要事項等について審議する。	1,054
事務的経費	スポーツ行政の企画調整等に要する事務経費。	15,321
合計		652,676

#### <指定管理料内訳>

施設名	指定管理料	指定管理者
鳥取産業体育館・鳥取屋内プール	96,107千円（うち見直しによる算定額36,954千円）	（公財）鳥取県スポーツ協会
米子産業体育館	40,729千円（うち見直しによる算定額11,531千円）	
倉吉体育文化会館	64,142千円（うち見直しによる算定額18,535千円）	
県立武道館	84,543千円（うち見直しによる算定額22,550千円）	
東山水泳場	77,413千円（うち見直しによる算定額9,526千円）	
ライフル射撃場	1,199千円（うち見直しによる算定額165千円）	（一財）鳥取県水泳連盟・ （公財）鳥取県スポーツ協会 共同企業体
障がい者体育センター	12,020千円（うち見直しによる算定額2,011千円）	鳥取県ライフル射撃協会 （株）TKSS
合計		376,153千円

※R9～R10の指定管理料も増額するため、債務負担行為を設定（7,326千円）

#### 【参考】指定管理料の見直しの考え方

- ・人件費：各年度の民間給与実態調査を基に積算した人件費が、予算設定時（再算定を行った場合は再算定時）と比較して施設ごとに±3%以上の増減があった場合、再算定を行う。
- ・物件費等：予算設定時（再算定を行った場合は再算定時）と比較して、鳥取市物価指数に±3%以上の増減があった場合、再算定を行う。
- ・光熱費：物価指数を考慮して算定した額を毎年度別枠で措置する。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
5目 スポーツ振興費

関西ワールドマスターズゲームズ課（内線：7903）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ワールドマスターズゲームズ2027関西鳥取県大会開催準備事業	〔債務負担行為〕 40,841 120,459	16,751	〔債務負担行為〕 40,841 103,708				〔債務負担行為〕 40,841 120,459	
トータルコスト	160,604千円（前年度 31,736千円）〔正職員：5人〕							

### 1 事業の目的、概要

2027(R9)年5月に関西一円で開催される世界最大級（海外2万人・国内3万人）の「参加型」国際総合スポーツ大会「ワールドマスターズゲームズ2027関西(WMG)」に向け、競技準備やボランティア募集等の開催準備を進めるとともに、県内競技の参加促進並びに県内及び関西周遊によるスポーツツーリズムの発展につなげる。

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
1 競技準備・推進事業	○開催市町実行委員会負担金 競技運営、会場設置、交通、おもてなし等の準備や参加者募集等を実施する開催市町実行委員会に負担金を交付する ※負担割合は県:市町=2:1	40,987
2 参加促進・機運醸成事業	○参加促進 エントリーPR、WMG応援アンバサダー等活用、関西エリア等と連携した参加者獲得 ○県内機運醸成 開催1年前イベント、ボランティア募集・確保、本県開催4競技のパンフレット、のぼり、横断幕等の作成	18,600
3 スポーツツーリズム促進事業	○誘客促進 米子発着国際便を利用した韓国・台湾等からの大会参加者獲得、関西からの誘客周遊促進、本県競技参加者等の県内周遊促進	14,370
4 おもてなし充実化事業	○ボランティアセンター運営 ボランティアの募集、研修、配置等を行うボランティアセンターを運営 ○マスターズビレッジ設置運営 選手受付・交流拠点設置の準備（鳥取駅前風紋広場） ○街中装飾 大会期間中、空港や主要駅等で参加者等を歓迎する装飾の準備	40,022
5 WMG組織委員会負担金	○組織委員会への負担金 （派遣職員の人件費を13府県市で均等割）	3,480
6 標準事務費		3,000
合計		120,459

※事業が複数年度（R8～R9年度）に渡る40,841千円については、債務負担行為として設定

#### < WMG 2027 関西大会概要 >

- ・ 期 間：2027年5月14日（金）～5月30日（日）
- ・ 開催競技：35競技59種目（13府県政令市で開催）

#### < 県内開催競技概要 >

市町名	競技名（競技会場）	種目名	競技実施日	募集人数
鳥取市	アーチェリー （ヤマタスポーツパーク）	アウトドア	5/15（土）～18（火）4日間	600人
		インドア	5/15（土）～18（火）4日間	408人
倉吉市・北栄町	自転車（倉吉自転車競技場/ 倉吉市・北栄町特設ロードコース）	トラック	5/19（水）～22（土）4日間	550人
		ロード	5/23（日）1日間	1,100人
米子市	柔道（県立武道館）	-	5/21（金）～23（日）3日間	500人
湯梨浜町	グラウンド・ゴルフ（潮風の丘とまり）	-	5/28（金）～29（土）2日間	672人
				3,830人

### 3 その他（改善点等）

組織委員会、開催市町、競技団体等と連携し、競技関係を中心に大会に向けた準備を進めるとともに、国内外の様々な大会等でWMG参加者層等へPRを実施している。

国外ではR7年5月に先催大会として開催されたWMG2025台湾大会のほか、韓国、モンゴル、スペイン等約1万人に大会等をPR、国内では全国各地で開催される大規模大会を中心に、万博、国スポ滋賀大会、ねりん岐阜大会等で約3万人に大会と誘客をPRした。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
6 目 文化財保護費

文化財課（内線：7937）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 県内文化財防災等推進事業	1,680	0	1,680				1,680	
トータルコスト	2,483千円（前年度 0千円） [正職員：0.1人]							

1 事業の目的、概要

鳥取県中部地震から10年の節目に当たり、改めて県内文化財の防犯・防災対策について調査したところ防災・防犯設備が未設置の県指定文化財が散見された。加えて、昨今、全国的に文化財の盗難や火災・災害による破損案件が多発していることから、文化財指定後2年間に適用される有利な制度を年限を区切って活用することで、重要度の高い県指定文化財について、所有者に防犯・防災設備の設置を促していく。

2 事業内容

○対象文化財・要件、対象事業

	対象文化財	要件	対象事業
本事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>県指定有形文化財（美術工芸品・建造物）</li> <li>県指定民俗文化財</li> </ul>	防災・防犯対策が必要と考えられる文化財のうち、防災・防犯設備未設置で、かつ技術的な理由等により設置が困難であったが技術の進歩や規制緩和（自動火災報知設備の無線化等）により設置が可能となった案件に限定  [事業期間] 令和8～10年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 消火設備</li> <li>■ 自動火災報知設備</li> <li>■ 防犯設備</li> </ul>
通常	同上	新規指定後2年間	同上

○事業主体

文化財所有者等（＝文化財を所有または管理する個人・団体）

○補助率

県補助率70%（うち20%は市町村を経由しての間接補助）

※既存の県補助制度における通常の防災施設等整備事業は県補助率50%

〈事業費に対する負担割合〉

県補助金 70%	市町村補助金 25%	所有者負担 5%
-------------	---------------	-------------

3 その他（改善点等）

- 文化財に関わる地域の人材不足・減少が進むなか、地域に残る文化財の保護が難しくなっている。自然災害の激甚化に加え、県指定文化財も指定後年月が経ち無住の寺社が増加や所有者の高齢化が一層進むなど保護に対する不安が増し、文化財を取り巻く環境は年々厳しさを増している。
- 文化財防災・防犯対策は喫緊の課題であり、防災等対策に不備のある文化財に対して必要な設備等の設置を急ぐことはもちろん、文化財の保護に関わる地域の人材を増やす取組が必要である。
- 平時における文化財の防災・防犯対策については、文化財所有者研修会や市町村文化財保護行政担当者会議において消防局等関係機関の協力を得ながら意識啓発や理解促進を図っている。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
6 目 文化財保護費

文化財課（内線：7760）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「とっつりの誇り」文化遺産活用推進事業	3,707	3,878	△171				3,707	
トータルコスト	7,722千円（前年度 7,822千円） [正職員：0.5人]							

1 事業の目的、概要

鳥取県の文化財保存活用大綱に基づき、本県の優れた文化財を教育資源や観光資源として保存・活用するため、地域学習や地域振興活動への支援等を行う。

2 主な事業内容

(1) 文化遺産保存活用の推進

細事業名	内容	予算額
文化遺産の保存・伝承・活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市町村が取り組む文化財保存活用地域計画を支援する。</li> <li>無形文化財の保存・伝承・活用するための一般向け講習会を実施する。</li> <li>県内の文化遺産を周遊するための解説看板を設置する。</li> </ul>	1,208

(2) 未来を担う子どもたちへの文化財学習

細事業名	内容	予算額
本物に触れる～ふるさとの文化財を学ぶ知楽塾	<p>身近な地域の歴史遺産（遺跡、建造物など）や民俗（暮らしの道具、まつり、伝統芸能など）を学ぶ文化財学習を希望する学校において実施する。</p> <p>&lt;事業例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化財（史跡・伝統芸能・手工芸など）の調べ学習や体験授業</li> <li>地域の文化財に詳しい講師による授業</li> <li>市町村及び県の文化財担当職員による出前講座・出前古代体験</li> </ul>	550
「ふるさと未来創造工房」の開催	無形文化財保持者など文化財に関わる各分野第一人者を講師として、子どもを対象とした体験講座を実施する。	1,835

(3) 日本刀とたたらを活用した魅力発信事業

細事業名	内容	予算額
調査研究	古伯耆物等刀剣類の調査を行う。	114

3 その他（改善点等）

これまでに文化財保存活用地域計画を作成した県内市町村は3市町（北栄町、日野町、米子市）あり、令和7年度から倉吉市が作成に着手している。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
6 目 文化財保護費

文化財課（内線：7525）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「鳥取県の文化財」調査研究事業	21,020	32,409	△11,389				21,020	
トータルコスト	25,837千円（前年度 37,141千円）〔正職員：0.6人〕							

1 事業の目的、概要

文化財の国・県指定、登録等に必要な学術的な評価を行うための調査研究を実施する。  
また、文化財調査や今後の保存修理・維持管理に必要な人材育成を行う。

2 主な事業内容

	細事業名	内容	予算額
調査・記録	建造物調査	○消滅の可能性が高い歴史的建造物に対し現況調査を行う。 ○指定候補建造物として学術的に評価するための詳細測量調査を行う。	9,684
	民俗文化財・無形文化財調査	○民俗文化財・無形文化財を学術的に評価するための調査（郷土食等）を実施する。	696
	歴史資料・美術工芸品等調査、記録	○指定候補の歴史資料を学術的に評価するための調査を実施する。 ○美術工芸品等の指定に際し、記録写真を撮影する。	771
	名勝庭園調査	○未指定の名勝庭園を対象に令和2～5年度に実施した総合調査の成果に基づき、指定候補庭園として学術的に評価するための詳細調査を行う。	8,593
技術者育成等	庭園技術者講習、ヘリテージマネージャー研修	○造園技術者を対象に、文化財庭園の保存・管理のために必要な知識や技能について実践的な技術講習を実施する。 ○文化財建造物の調査、保存活用に携わる鳥取県ヘリテージマネージャーを対象としたステップアップ研修の経費を支援する。	1,276

3 その他（改善点等）

- これまでの調査研究成果をもとに、令和7年度は計7件が県指定文化財等となった。  
（内訳：美術工芸品3件、考古資料2件、史跡1件、無形文化財1件）
- 鳥取県では約60名のヘリテージマネージャーが育成されており、ステップアップ研修の受講を通じて知識を蓄えながら歴史的建造物の現況調査や保存修理の支援等に協力している。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
6 目 文化財保護費

文化財課（内線：7760）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
文化財保護指導費	16,884	16,833	51	840			16,044	
トータルコスト	34,825千円（前年度 34,314千円）〔正職員：2人、会計年度任用職員：0.5人〕							

1 事業の目的、概要

文化財の指定及び調査、市町村等への支援により、県民の共有財産である文化財の適切な保護と管理を行う。特に、近年の文化財の火災頻発を受け、文化財防災・防犯対策事業（普及啓発等）を行う。

2 主な事業内容

	細事業名	内容	予算額
1	鳥取県文化財保護審議会会議費	○鳥取県文化財保護審議会において文化財指定等に係る審議を行う。 ○鳥取県文化財保存活用大綱の更新・改訂に係る検討を行う。	1,493
2	文化財保護調査指導費	○文化財の所有者・管理者、市町村文化財主管担当者に対する文化財保護に係る指導・助言等を行う。	1,929
3	指定文化財フォローアップ調査指導費	○指定文化財の現状確認・再調査や樹木医診断を実施する。天然記念物（動物）の保護指導等を支援する。	2,300
4	鳥取県文化財防災・防犯対策事業費	○文化財所有者等に対し防災・防犯対策の研修を行うとともに、防災・防犯設備の整備の促進を図る。	139
5	銃砲刀剣類登録審査事業費	○銃砲刀剣登録審査会を開催する。	240
	その他事務費		10,783

「鳥取県の文化財」情報発信事業	8,827	8,827	0	1,500			7,327	
トータルコスト	23,279千円（前年度 23,024千円）〔正職員：1.8人〕							

1 事業の目的、概要

県内等の歴史や文化を誇りに思い大切に感じてもらうため、文化財に関する情報を県内外に発信する。

2 主な事業内容

	細事業名	内容	予算額
1	文化財巡り	○現地を訪れた見学者に文化財を理解してもらうための解説看板を設置する（5ヵ所）。	2,449
2	展示会・見学会	○新指定文化財の展示会・見学会等を開催する。 ○遺跡や文化財等の歴史遺産について文化財主事が各地に出向いて行う出前講座等を実施する。	3,378
3	「温泉文化」調査研究(国1/2)	○日本の「温泉文化」をユネスコ無形文化遺産登録を目指して普及啓発や調査研究を実施する。	3,000

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
6目 文化財保護費

文化財課（内線：7525）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
文化財助成費	182,732	217,560	△34,828	2,618			180,114	
トータルコスト	193,170千円（前年度 227,813千円）〔正職員：1.3人〕							

1 事業の目的、概要

文化財の適切な保存・保護を図るため、市町村や所有者等（所有者・管理団体）が行う国・県指定等文化財の保護・管理・活用に係る事業への助成を実施する。  
なお、県指定された有形文化財の災害や盗難等犯罪を未然に防ぐための防災・防犯設備の設置を独自に支援している。

2 主な事業内容

	補助対象	実施主体	県補助率（上限額）	予算額
1	国指定文化財関係	市町村 所有者等	○市町村 補助対象事業費から国庫補助金額及び起債に対する交付税措置相当額を差し引いた額の1/5、1/3、1/2又は2/3 ○所有者等 補助対象事業費から国庫補助金額を差し引いた額の1/2	121,040
2	県指定文化財関係	市町村 所有者等	○市町村 補助対象事業費から起債に対する交付税措置相当額を差し引いた額の1/5、1/3、1/2又は2/3 ○所有者等 1/2	50,733
3	管理関係	市町村 所有者等	○国指定 補助対象事業費から国庫補助金額を差し引いた額の1/2 ○県指定 1/2 ※国有文化財の見廻り看視及び清掃は補助対象経費の1/5	10,959

3 その他（改善点等）

助成する主な文化財

- 国指定文化財：仁風閣・尾崎家住宅（建造物）、因幡の麒麟獅子舞（無形民俗文化財）ほか
- 県指定文化財：小川家住宅・庄司家住宅（建造物）、依山楼岩崎庭園・矢田貝氏庭園（名勝）、下蚊屋荒神神楽（無形民俗文化財）ほか

伝統芸能等支援事業	1,150	9,220	△8,070				1,150	
トータルコスト	5,967千円（前年度 13,952千円）〔正職員：0.6人〕							

1 事業の目的、概要

無形民俗文化財の保存伝承を図るため、市町村と協力して保護団体の現状把握を行うとともに、保存伝承活動に対する支援を行う。

2 主な事業内容

	細事業名	内容	予算額
1	地域民俗芸能再生事業費補助金	無形民俗文化財の保護団体（国・県指定を除く）等が行う後継者育成を目的とした事業を支援する（市町村への間接補助（補助率1/3、補助上限30千円等））。	490
2	伝統芸能功労団体賞知事表彰	学校や公民館と連携するなどして、子ども達をはじめとする後継者育成を熱心に行い、その成果の披露を行っている団体を表彰する。	60
3	中国・四国ブロック民俗芸能大会への民俗芸能団体派遣	島根県で開催される中国・四国ブロック民俗芸能大会に鳥取県代表として1団体を派遣する。	600

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
 2 項 企画費  
 6 目 文化財保護費

文化財課（内線：7523）  
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
池田家墓所整備活用促進事業	11,200	12,596	△1,396				11,200	
トータルコスト	20,032千円（前年度 21,272千円） [正職員：1.1人]							

### 1 事業の目的、概要

公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が実施する史跡鳥取藩主池田家墓所の管理、活用及び保存整備等に要する経費に対して補助を行う。

### 2 主な事業内容

#### (1) 管理事業（財源：県1/2、鳥取市1/2） 6,245千円

- 墓所の監視及び清掃、現地案内
- 普及啓発・情報発信等
  - ・燈籠会の開催（第23回）
  - ・写真コンクール（第20回）の開催と巡回展示
  - ・池田家墓所交流連携事業
    - 鳥取池田家と関連のある県内外の施設で鳥取藩池田家展示を実施
    - ボランティアによる清掃活動の実施、地元主催ライトアップ事業との連携 など

#### (2) 保存整備事業（財源：国1/2、県1/4、鳥取市1/4） 4,955千円

「史跡鳥取藩主池田家墓所保存整備計画」に基づき、復元・修復工事等の整備を行う。  
 （中門保存修理工事等）

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
6 目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（内線：7934）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「とっとり弥生の王国」弥生人+“ワン!”事業	〔債務負担行為〕 4,488 26,851	11,288	〔債務負担行為〕 4,488 15,563	5,586			〔債務負担行為〕 4,488 21,265	
トータルコスト	34,880千円（前年度 19,175千円）〔正職員：1人〕							

1 事業の目的、概要

青谷上寺地遺跡は全国最多のイヌの骨も出土しており、DNA分析を基とした青谷弥生犬の復元に取り組み、また古代犬を通じた海外との学术交流を行うことで、遺跡の特微的な学術研究の探求を図る。  
あわせて制作した青谷弥生人の復顔像とそのキャラクターを「とっとり弥生の王国」の象徴として活用展開し、引き続き弥生文化に係る他地域との連携、企画展示やシンポジウム開催などにより、「とっとり弥生の王国」のブランディングと弥生文化の価値・認知度を“ワン!”ランクアップさせる事業を行う。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
【新規】 「弥生犬」調査研究事業	<p>(1) 青谷弥生犬復元事業 「地下の弥生博物館」青谷上寺地遺跡からは全国最多の88個体以上のイヌの骨が見つかり、従来の研究成果に加え、新たにDNA分析などの理化学的分析に基づく「青谷弥生犬」の復元（骨格、生体の2体）を行う。日本人に身近なイヌを通じて学術研究の深掘りを行い、弥生文化や遺跡等への理解、興味関心に繋げる。</p> <p>※1年目：資料調査及び骨格標本作製 2年目：生体標本作製、シンポジウム開催、報告書作成 ※人と犬の両方が、骨の形態とDNA分析から精巧に復元できれば全国初の事例。</p> <p>【債務負担行為】・内 容：骨格模型作成委託 ・期 限：令和9年度 ・限度額：4,488千円</p> <p>(2) 韓国学术交流事業 弥生時代と同時期のイヌが見つかる韓国の靑島（ヌクト）遺跡と、古代犬を通じた学术交流事業を行う。</p>	11,043
【新規】 「青谷弥生人」押し事業	<p>(1) 青谷弥生人を活用したガイダンス用動画制作 これまでに復元した3体の青谷弥生人のキャラクターを元に「話す」「動く」動画を作成し、弥生時代のナビゲーターとして活用する。</p> <p>(2) 関西圏を中心としたプロモーション広報</p>	4,143
「とっとり弥生の王国」ブランド化事業	<p>(1) 弥生文化研究発信事業（佐賀・岡山連携事業） 弥生時代の主要遺跡がある九州地域の佐賀県、山陽地域の岡山県と連携し、出土品や遺構等に関する調査研究を進め、日本列島の弥生文化の実像を様々な角度から明らかにする。さらにその成果を内外に情報発信することで弥生文化、「とっとり弥生の王国」のブランド力を高める。</p> <p>(2) 企画展開催事業〔青谷かみじち史跡公園〕 青谷上寺地遺跡や県内外の出土品とともに、設定したテーマに沿って弥生文化を紹介する展示を3回実施する。</p> <p>(3) 弥生の王国シンポジウム事業〔むきばんだ史跡公園〕 弥生文化に関する調査研究成果を基にした講演、パネルディスカッションなどを実施することにより、「とっとり弥生の王国」について共に学び、新たな価値を生み出す。</p>	11,665
合計		26,851

3 その他（改善点等）

- ・弥生犬の調査研究や3県連携の研究発信事業により「とっとり弥生の王国」が弥生文化研究の第一線に立つよう取組を進める。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

6 目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（内線：7932）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 ＜雑入＞	一般財源	
「とっとり弥生の王国」知・楽・学事業	25,200	28,966	△3,766	5,689		2,100	17,411	
トータルコスト	74,483千円（前年度 76,806千円） [正職員：5.2人、会計年度任用職員：2人]							

### 1 事業の目的、概要

鳥取県が全国に誇る「妻木晩田遺跡」「青谷上寺地遺跡」を中心とする「とっとり弥生の王国」の価値や魅力を県内外の多くの方に知っていただき誘客・集客に繋げるため、最新の調査研究の成果や情報を広く発信するとともに「とっとり弥生の王国」を楽しみながら学ぶフェスタや、知的探究心に応えるワークショップ、講座等の開催、出土品を活用した様々な体験活動等を実施する。

【知・楽・学とは】…事業をその内容や性格から「知」「楽」「学」の3つのカテゴリーに仕分け、さまざまなイベント・講座・体験活動等を通じて「とっとり弥生の王国」の魅力を多様なニーズに応じて提供するもの。

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
「とっとり弥生の王国」を「知る」事業 …「とっとり弥生の王国」を県内外にPRし、ファンを幅広く獲得するためのプロモーション等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とっとり弥生の王国ミュージアムキャラバン 青谷上寺地遺跡などの優れた出土品等を他県の博物館等で展示し、ギャラリートークや関連講演会もセットで行うことで、最新の情報を発信。</li> <li>・弥生の御朱印巡り 鳥取県が企画し、全国の弥生遺跡との連携したスタンプラリーを実施。</li> <li>・史跡公園負担金 妻木晩田遺跡活用実行委員会負担金ほか</li> </ul>	2,343
「とっとり弥生の王国」を「楽しむ」事業 …「とっとり弥生の王国」を現地で楽しむためのイベント等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とっとり弥生の王国フェスタ 「とっとり弥生の王国」の中核となる史跡公園のPRと地元の賑わい創出を目的に、青谷かみじち史跡公園等で開催。</li> <li>・自然ワークショップ公開講座 史跡公園の活用参画に意欲を持つ地域住民等に対してワークショップや外部講師を招いた公開講座を実施。</li> <li>・青谷かみじち史跡公園地域連携事業 青谷町地域の個人・団体と連携し、青谷かみじち史跡公園内の水田等の運用管理を通して青谷かみじち史跡公園の利活用を図る。</li> <li>・史跡公園ボランティア養成（青谷） 史跡公園ガイドや体験活動のサポートなど、地元住民に史跡公園でのボランティア活動を行う機会を提供する。</li> </ul>	16,028
「とっとり弥生の王国」を「学ぶ」事業 …「とっとり弥生の王国」について理解を深めるための講座等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とっとり弥生の王国土曜講座 むきばんだ・青谷かみじち両史跡公園と埋蔵文化財センターが連携し、月1回、タイムリーな内容で最新の調査研究成果等を幅広く紹介する講座を開催。</li> <li>・とっとり弥生の王国考現学講座 高校生を対象とし、専門家の講義と体験学習により、弥生時代を学ぶことを通して現代や将来を考える講座を開催。</li> <li>・校外学習受入対応促進事業 これまでに来園機会のない県内の小学校等を史跡公園に招待し、より実践的な受入体験メニュー構築につなげる。</li> </ul>	1,005
事務費		5,824

### 3 その他（改善点等）

- ・これまでにキャラバンや御朱印巡り、フェスタやシンポジウム、土曜講座などの活用事業や調査研究事業などを継続実施し、鳥取県が全国に誇る妻木晩田遺跡と青谷上寺地遺跡を中心とする弥生時代の遺跡を「とっとり弥生の王国」として一体的なものとして、その魅力や価値を広く県内外に発信し、地域振興、観光振興につなげてきた。
- ・「とっとり弥生の王国」について県内外を問わずさらに知名度を高めていくため、3つのカテゴリー観点に仕分けて様々な活用メニューの提供を展開することで、歴史や考古学等の学習や研鑽の場としての役割も果たしていく。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
6目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（内線：7934）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
県内史跡等保存活用推進事業	117,149	129,613	△12,464				117,149	
トータルコスト	130,798千円（前年度 143,021千円） [正職員：1.7人]							

1 事業の目的、概要

文化財の適切な保存・保護を図るために、市町村や所有者等（所有者・管理団体）が行う文化財の保護・管理・活用に係る事業に助成を行うとともに、調査研究や学術的評価の実施により、鳥取県の優れた文化財を地域振興（観光資源化等）や教育資源として活用するための取組を支援する。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
史跡・埋蔵文化財の保護・管理・活用への助成	(1) 市町村が実施する以下の事業への助成 【補助対象】 ・国及び県指定文化財の保存修理等に要する経費 ・国及び県指定史跡の保存・整備・管理事業等に要する経費 ・開発事業や内容確認に伴う発掘調査等に要する経費 ・埋蔵文化財等を活用して行う出前授業や講演会等に要する経費 【補助率】 補助対象事業費から国庫補助額及び起債に対する交付税措置相当額を差し引いた額の1/2、1/3、2/3等 (2) 史跡・埋蔵文化財の保護や活用に関して、文化庁等から指導・助言を受けるための経費 (3) 史跡指定地等の管理に要する経費	116,902

とっとり日本遺産魅力発信事業	5,597	5,779	△182				5,597	
トータルコスト	13,626千円（前年度 13,666千円） [正職員：1人]							

1 事業の目的、概要

鳥取県内で認定されている4地域の日本遺産について、県民にその魅力を発信するとともに、日本遺産相互での情報の共有、誘客のための効果的な連携を図る。

※令和3年度三朝町の日本遺産再審査時に指摘された課題の一つである「地元住民の意識の向上」に対応するため、地元の推進協議会や観光団体との連携を目的としたネットワーク構築による情報共有や、地域の日本遺産を深く知る機会を創出するための取組を各地域と一体となって実施する。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
とっとり日本遺産連携促進事業	○「とっとり日本遺産ネットワーク会議」開催 県内の日本遺産所在自治体、推進協議会及び観光団体等との連携を目的とした会議を実施し情報共有等を図る（年2回開催）。	273
とっとり日本遺産周知促進事業	○とっとり日本遺産の情報発信・誘客促進 県内4地域の日本遺産の周知、本県への誘客促進を図るため、県内・関西エリアでのテレビ番組の制作、旅行雑誌への特集記事の掲載を行う。 ○「とっとり日本遺産パネル巡回展」開催 県内各日本遺産推進協議会の協力を得て、日本遺産のストーリー及び構成文化財を紹介するパネル巡回展を開催。	4,620
とっとり日本遺産周遊促進事業	○とっとり日本遺産ガイドブック・ポスター増刷、配布	704
	計	5,597

3 その他（改善点等）

県内で認定されている4地域の日本遺産推進協議会と連携し、日本遺産の積極的な活用を図ることで、今後の文化庁審査委員会審査での認定継続を確実なものとする。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
6目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（内線：7934）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
史跡公園運営管理費	〔債務負担行為〕 21,170	〔債務負担行為〕 27,366	〔債務負担行為〕 △6,196			〔債務負担行為〕 3,356 〈使用料10、財産収入50、受託事業収入〉 40,107	〔債務負担行為〕 17,814	県費負担
	229,737	213,353	16,384	31,429	<6,300> 9,000	40,167	149,141	155,441
トータルコスト	240,978千円（前年度 224,395千円）〔正職員：1.4人〕							

1 事業の目的、概要

青谷かみじち史跡公園及びむきばんだ史跡公園について、指定管理者による管理運営を実施するとともに、適切な遺跡の管理を行うための必要な経費を支出する。

2 主な事業内容

(1) 指定管理料

施設名	内容	予算額
青谷かみじち史跡公園	(1) 指定管理者：青谷かみじち史跡公園スマイルTKパートナーズ (2) 指定管理期間：令和6年3月1日～令和11年3月31日 (3) 令和8年度指定管理料 107,819千円 (うち見直しによる算定額28,403千円) (4) 人件費高騰等の対応に係る債務負担行為 ア 期間 令和9年4月1日～令和11年3月31日（2年間） イ 増額人件費等2年間の総額 8,806千円（4,403千円×2年）	107,819
むきばんだ史跡公園	(1) 指定管理者：公益財団法人鳥取県教育文化財団 (2) 指定管理期間：令和6年4月1日～令和11年3月31日 (3) 令和8年度指定管理料 109,159千円 (うち見直しによる算定額9,336千円) (4) 人件費高騰等の対応に係る債務負担行為 ア 期間 令和9年4月1日～令和11年3月31日（2年間） イ 増額人件費等2年間の総額 12,364千円（6,182千円×2年）	109,159

【参考】指定管理料の見直しの考え方

- ・人件費：各年度の民間給与実態調査を基に積算した人件費が、予算設定時（再算定を行った場合は再算定時）と比較して施設ごとに±3%以上の増減があった場合、再算定を行う。
- ・物件費等：予算設定時（再算定を行った場合は再算定時）と比較して、鳥取市物価指数に±3%以上の増減があった場合、再算定を行う。
- ・光熱費：物価指数等を考慮して算定した額を毎年度別枠で措置する。

(2) スーパーボランティア支援事業

内容	予算額
青谷かみじち史跡公園として今後整備を進める史跡指定地内の景観保全のため、除草や植栽等の維持管理を行いながら遺跡の活用を図る活動を行う団体を支援する。	2,192

(3) 施設修繕・備品更新事業

内容	予算額
むきばんだ史跡公園の開園からの経過に伴い、作動不良となった装置の修繕、修理不能な備品の更新を行う。	10,296

(4) 委員会運営費

内容	予算額
指定管理3年目の中間評価に係る委員会運営経費	271

(注) 起債欄の<>書きは交付税措置額を除いた額である。  
県費負担額は、起債欄の<>書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
6 目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（電話：0857-30-4110）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
青谷かみじち史跡公園整備事業	〔債務負担行為〕 19,412  306,269		〔債務負担行為〕 19,412  262,568	〔債務負担行為〕 9,706  142,722	〔債務負担行為〕 6,000 〈58,800〉 84,000	〔債務負担行為〕 〈受託事業収入〉 3,300 〈受託事業収入〉 55,313	〔債務負担行為〕 406  24,234	県費負担 83,034
トータルコスト	322,327千円（前年度 51,588千円）〔正職員：2人〕							

1 事業の目的、概要

保存状態の良い多種多様な道具類、生活廃棄物、人骨、朝鮮半島や中国大陸に由来する品々が出土することで知られる全国屈指の弥生時代遺跡「青谷上寺地遺跡」の適切な保存活用のため、必要な史跡整備を実施する。

2 主な事業内容

史跡公園北側地区（遺跡発見ひろば、古代山陰道等）の工事用道路設置工事、敷地造成工事などの土木工事、遺構展示施設基本設計・地質調査、展示設計委託業務を実施する。

項目	内容	予算額
土木工事	敷地造成工事、構造物撤去工事 等	270,490
建築工事設計	遺構展示施設基本設計・地質調査	11,757
展示設計	遺構展示施設展示設計	12,309
移転補償	電柱等移転	10,414

【債務負担行為】・内 容：遺構展示施設・東屋建築工事設計業務委託  
・期 限：令和9年度  
・限度額：19,412千円

＜北側地区の整備計画＞

年度	整備事業内容
R6～7	現地測量、実施設計
R8	土木工事、遺構展示施設基本設計及び地質調査、電柱移転補償
R9	土木工事、遺構展示施設及び東屋の実実施設計
R10	土木工事、遺構展示施設及び東屋の建築、遺構展示物の製作
R11	供用開始（予定）

3 その他（改善点等）

・令和2～5年度で史跡公園南側地区の展示ガイダンス施設、公園整備（弥生の湿地ひろば等）が完了し、令和6年3月24日に青谷かみじち史跡公園開園（入園者数累計63,290人（R7.12末現在））。

＜参考＞ グランドデザインと令和8年度整備箇所（青囲み部分）



（注）起債欄の〈 〉書きは交付税措置額を除いた額である。  
県費負担額は、起債欄の〈 〉書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
6目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（電話：0857-85-5011）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
青谷上寺地遺跡発掘調査事業	14,651	13,312	1,339	5,545			9,106	
トータルコスト	50,036千円（前年度 68,758千円） [正職員：3人、会計年度任用職員：3人]							

1 事業の目的、概要

青谷上寺地遺跡の詳細な内容を解明するための調査を継続して実施するとともに、出土した貴重な遺物を後世に引き継ぎ、出土品の調査研究や活用を可能とするための恒久的な保存処理を行う。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
試掘・ボーリング調査	・居住域の確認を目的とする試掘調査 ・砂丘部の関連遺跡の有無の確認のためのボーリング調査	11,223
出土品保存処理	・重要な木製品の保存処理	1,406
埋蔵環境調査	・地下水位観測と観測坑3地点の水質観測（pH値測定、酸化還元電位測定、溶存酸素測定ほか）実施	1,232
とっとり弥生の王国調査整備活用委員会	・調査方針等の審議のため委員会を開催	790
計		14,651

青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業	15,081	22,135	△7,054	1,750	<使用料18、財産収入67> 85	13,246	
トータルコスト	65,530千円（前年度 68,635千円） [正職員：3人、会計年度任用職員：7人]						

1 事業の目的、概要

重要文化財を含む青谷上寺地遺跡の出土品について、多角的に研究を行い、その成果を情報発信し、史跡公園での展示や史跡整備に活かす。

2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
出土品の調査研究	・整備、活用事業の充実を図るための「弥生人の暮らし」に係る応用研究 ・膨大な出土品の情報公開・活用を進めるための出土品の再整理 ・人骨研究（DNA分析等）	918
重要文化財指定品の修理	・欠損等がある現状では展示公開が困難な重要文化財指定品（木製品・骨角器・土器等）の修理、部分的復元の実施（7年度目、土器）	3,404
重要文化財の展示、保管管理	・重要文化財指定品の展示、保管等 ・展示ガイダンス施設内の環境測定等	3,221
弥生人の脳の保守管理	・保存庫保守管理 ・有識者による保存状態確認、保存方法に関する助言指導等	71
事務所管理費	・入居負担金（鳥取市青谷町総合支所） ・入居事務所の清掃、事務費等	3,065
事務費		4,402

3 その他（改善点等）

- ・青谷上寺地遺跡から出土した1,353点もの国重要文化財について、多くの方に鑑賞いただけるよう定期的に入れ替え展示を実施する。
- ・膨大な出土品を種別ごとにデータベース化し、更新・公開を行うほか、「出土品調査研究報告書」計12冊を刊行する。弥生時代研究に必携の学術書として、多くの論文で引用されている。

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費  
2 項 企画費  
6 目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（電話：0859-37-4000）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
むきばんだ史跡公園整備事業	73,537	76,437	△2,900	23,221	<24,500> 35,000		15,316	県費負担 39,816
トータルコスト	92,004千円（前年度 94,577千円） [正職員：2.3人]							

### 1 事業の目的、概要

国史跡妻木晩田遺跡を適切に保存・管理するとともに、公開・活用するために必要な遺構整備、環境整備等を行う。

### 2 主な事業内容

区分	内容	予算額
既公開施設修繕等事業	・洞ノ原地区復元建物修繕（堅穴式住居の茅葺き替え等） ・災害復旧（斜面崩落のため土砂に埋まった管理道復旧【松尾城地区】） ・はっくつ体感広場修繕	22,715
第1期後期整備等事業	・仙谷地区墳丘墓群整備（土工及び放送設備実施設計） ・国史跡標柱制作・設置	46,407
とっとり弥生の王国調査整備活用委員会	・委員会の開催 ・有識者現地指導（仙谷地区墳丘墓群等の整備公開手法等の指導助言）	430
その他	・茅葺屋根講習会 ・交通案内板設置	700
事務費		3,285
計		73,537

### 3 その他（改善点等）

- ・仙谷地区墳丘墓群整備事業は令和3年度に基本設計から着手し、令和8年度の整備工事をもって第1期整備事業は完了、令和9年度末公開予定。
- ・復元建物は日常的な点検によって状態を注視しながら、適時維持管理作業員による小修繕（指定管理者による作業）を行い、経年劣化による損傷を最低限に抑制するとともに、公園景観を適切に維持している。

妻木晩田遺跡発掘調査研究事業	20,033	18,333	1,700	8,689			11,344	
トータルコスト	58,538千円（前年度 54,273千円） [正職員：1.7人、会計年度任用職員：6.6人]							

### 1 事業の目的、概要

妻木晩田遺跡及び弥生時代の解明を行い、鳥取県の弥生時代の魅力を県内外に伝えるため、発掘調査、整理作業、調査研究（資料調査、実験、教材作成等）、調査研究年報の作成を行う。

### 2 主な事業内容

区分	内容	予算額
発掘調査	・重点調査（妻木新山地区4区） ・保存処理委託 ・自然科学分析委託 ・分布調査	9,270
とっとり弥生の王国調査整備活用委員会	・委員会の開催 ・有識者現地指導等（発掘調査についての指導助言）	174
調査研究	・調査研究現地指導 ・研究年報作成 ・学校教材作成	1,911
事務費（出土品整理作業事業費含む）		8,678

### 3 その他（改善点等）

発掘調査研究年報及び発掘調査報告書を刊行し、学術的な調査研究の成果を企画展等で広く公開するとともに、ホームページやFacebookにより速報的に情報発信を行っている。

（注）起債欄の<>書きは交付税措置額を除いた額である。  
県費負担額は、起債欄の<>書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費  
2項 企画費  
6目 文化財保護費

とっとり弥生の王国推進課（内線：7932）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
受託発掘調査事業（北条道路）	112,837	106,085	6,752			＜受託事業収入＞ 112,837		
トータルコスト	116,049千円（前年度 109,240千円） [正職員：0.4人]							
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るため、一般国道9号（北条道路）の改築工事に先立ち、記録保存を前提とした発掘調査を実施する。</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>一般国道9号（北条道路）の改築工事に先立ち令和6年度まで実施した長瀬高浜遺跡（湯梨浜町）の発掘調査の出土品の整理作業と報告書作成を国土交通省の委託を受けて実施する（国土交通省受託事業10/10）。</p> <p>【対象遺跡】長瀬高浜遺跡 弥生時代前期～近世の集落跡、古墳群、畠跡など。特に古墳時代の集落跡は県内最大規模で、過去の発掘調査で出土した埴輪群は国指定重要文化財。</p>								

2款 総務費  
2項 企画費  
7目 埋蔵文化財センター費

とっとり弥生の王国推進課（電話：0857-27-6711）  
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
埋蔵文化財センター運営費	31,710	25,057	6,653	9,171		＜使用料547、 財産売払収入 418＞ 965	21,574													
トータルコスト	48,322千円（前年度 41,090千円） [正職員：1.6人、会計年度任用職員：1人]																			
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>埋蔵文化財センター（本所、積善分館、秋里分室、美和分室）庁舎、敷地の適切な維持管理、運営を行う。</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <table border="1" data-bbox="172 1464 1473 1727"> <thead> <tr> <th>細事業名</th> <th>内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設の維持管理</td> <td>施設の維持管理（敷地除草、廃棄物処理、各種点検等）</td> <td>3,999</td> </tr> <tr> <td>収蔵庫の整備</td> <td>・積善分館収蔵庫の改修・空調整備工事 ・収蔵庫に設置する収納棚備品の購入</td> <td>21,240</td> </tr> <tr> <td>出土品等管理パソコン更新</td> <td>OSのサポート満了期間が到来し耐用年数を過ぎた機器の更新</td> <td>1,024</td> </tr> </tbody> </table>									細事業名	内容	予算額	施設の維持管理	施設の維持管理（敷地除草、廃棄物処理、各種点検等）	3,999	収蔵庫の整備	・積善分館収蔵庫の改修・空調整備工事 ・収蔵庫に設置する収納棚備品の購入	21,240	出土品等管理パソコン更新	OSのサポート満了期間が到来し耐用年数を過ぎた機器の更新	1,024
細事業名	内容	予算額																		
施設の維持管理	施設の維持管理（敷地除草、廃棄物処理、各種点検等）	3,999																		
収蔵庫の整備	・積善分館収蔵庫の改修・空調整備工事 ・収蔵庫に設置する収納棚備品の購入	21,240																		
出土品等管理パソコン更新	OSのサポート満了期間が到来し耐用年数を過ぎた機器の更新	1,024																		

## 令和8年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

7目 埋蔵文化財センター費

とっとり弥生の王国推進課（電話：0857-27-6711）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県の考古学情報整理・発信・研修事業	10,426	9,266	1,160	4,813			5,613	

トータルコスト 78,531千円（前年度 75,082千円） [正職員：6.7人、会計年度任用職員：3.8人]

### 1 事業の目的、概要

埋蔵文化財の調査研究成果を活かした展示会・講演会・研修会・遺跡情報のデジタル化等を通して、県民の郷土愛の醸成や地域振興・観光振興を促す。

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
遺跡情報DX事業	・デジタル技術を活用した遺跡分布調査の実施（2/5年目） ・「鳥取県遺跡地図」（とっとりWebマップ）の更新、高精度化・情報拡充	1,928
考古学情報発信事業	・調査研究紀要刊行、県内文化財情報「鳥取県遺跡MAP」等の更新・公開 ・出土品の整理・復元、レプリカ作成、所内展示、出前展示 ・講演会、現地見学会、出前講座、「古代まつり」（市町共同開催）等の開催 ・歴史授業への支援、「ふるさとキャリア教育」の学習支援	6,223
研修・支援事業	・研修事業 ・市町村等への支援 ・文化財調査技術等研究	460
事務費		1,815

### 3 その他（改善点等）

- ・遺跡地図デジタル化にあたり令和6年度末に「鳥取県遺跡地図（試用版）」の公開を開始。デジタル未対応の遺跡情報（遺跡内の範囲情報、写真・図面等）を遺跡分布調査の実施にあわせ更新対応を継続する。
- ・市町村の研修・支援について、発掘調査や分布調査の技術支援を継続的に実施する。（令和6年度60件、令和7年度43件（R7.12月末現在））

重要遺跡等・出土品調査研究事業	12,495	13,978	△1,483	5,351			7,144	
-----------------	--------	--------	--------	-------	--	--	-------	--

トータルコスト 77,396千円（前年度 75,734千円） [正職員：4.8人、会計年度任用職員：7人]

### 1 事業の目的、概要

県または国にとって歴史上または学術上の価値が高い「重要遺跡」等の出土品の価値を明らかにし、本県の歴史解明及び地域振興につなげるため、出土品の保存処理及び学術的な調査研究を継続して実施する。

### 2 主な事業内容

細事業名	内容	予算額
重要遺跡等調査研究事業	・古墳の調査研究 ・古代山陰道の調査研究（鳥取市青谷地域） ・中世城館の調査研究	4,335
出土品調査研究事業	・保存処理（対象：鳥取西道路改築工事発掘調査） ・調査研究 出土木製品の資料化・再評価 重要考古資料整理	8,160

### 3 その他（改善点等）

- ・調査研究の成果について、令和7年度は鳥取まいぶん講座で「鳥取県東部における縄文時代～江戸時代の森林の変遷と木材利用」と「木製祭祀具の世界」を開催した。
- ・保存処理の作業進捗については、委託及び直営（PEG、トレハロース）により進めており、優先的に処理が必要な約9,000点のうち、約3,300点が終了した。
- ・保存処理の終了した木製品について、とっとりデジタルコレクションで順次公開している。

令和8年度当初予算歳入歳出事項別明細書(地域社会振興部)

(単位:千円)

節	款 項 目	2款 総務費				
		1項 総務管理費	1目 一般管理費	3目 広報費	4目 文書費	15目 総合事務所費
1	報酬	235,559	654		654	
2	給料	757,163				
3	職員手当等	484,645				
4	共済費	309,733				
5	災害補償費					
6	恩給及び退職年金					
7	報償費	18,826	1,192	1,192		
8	旅費	53,875	1,933	250	126	347
	費用弁償	15,564	477	100		347
	普通旅費	23,551	1,330	150		
	特別旅費	14,760	126		126	
9	交際費	300	200			200
10	需用費	122,557	29,168	2,714		26,454
11	役務費	45,212	13,610	5,500		110
12	委託料	3,663,839	160,120		12,598	1,188
13	使用料及び賃借料	53,121	8,500	1,500		
14	工事請負費	1,298,207				
15	原材料費	4,180				
16	公有財産購入費					
17	備品購入費	278,218				
18	負担金、補助及び交付金	3,349,791	4,564		40	42
19	扶助費					
20	貸付金					
21	補償、補填及び賠償金	10,414				
22	償還金、利子及び割引料					
23	投資及び出資金					
24	積立金					
25	寄付金					
26	公課費					
27	繰出金					
	予備費					
	計	10,685,640	219,941	9,964	13,956	2,341
財 源 内 訳	国庫支出金	574,408				
	地方債	2,130,000				
	その他	840,612	5,043	368	1,688	2,987
	一般財源	7,140,620	214,898	9,596	13,956	653

令和8年度当初予算歳入歳出事項別明細書(地域社会振興部)

(単位:千円)

款 項 目  節		2款 総務費						
		2項						
		企画費	1目 企画総務費	2目 計画調査費	5目 スポーツ振 興費	6目 文化財保護 費	7目 埋蔵文化財 センター費	8目 美術館費
1	報 酬	229,854	223,394	1,913	981	2,759		807
2	給 料	749,065	749,065					
3	職 員 手 当 等	479,424	479,424					
4	共 済 費	306,404	306,404					
5	災 害 補 償 費							
6	恩 給 及 び 退 職 年 金							
7	報 償 費	17,245	240	4,907	2,870	5,494	1,034	2,700
8	旅 費	48,386	9,941	3,126	6,256	15,582	1,564	11,917
	費 用 弁 償	14,663	6,984	1,235	798	4,719	10	917
	普 通 旅 費	19,696	2,657	800	3,650	5,273	454	6,862
	特 別 旅 費	14,027	300	1,091	1,808	5,590	1,100	4,138
9	交 際 費	100	100					
10	需 用 費	53,091	5,331	13,406	8,087	8,196	7,832	10,239
11	役 務 費	23,814	6,017	1,393	6,230	5,840	1,043	3,291
12	委 託 料	3,386,442	200	1,234,247	708,069	487,834	18,615	937,477
13	使 用 料 及 び 賃 借 料	40,734	3,124	6,295	3,292	14,387	1,861	11,775
14	工 事 請 負 費	1,182,213		744,026	111,337	314,443	12,407	
15	原 材 料 費	4,180				4,180		
16	公 有 財 産 購 入 費							
17	備 品 購 入 費	278,218		4,073	22,192	2,062	10,057	239,834
18	負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	2,433,053	8,520	166,480	1,836,086	322,951	218	98,798
19	扶 助 費							
20	貸 付 金							
21	補 償、補 填 及 び 賠 償 金	10,414				10,414		
22	償 還 金、利 子 及 び 割 引 料							
23	投 資 及 び 出 資 金							
24	積 立 金							
25	寄 付 金							
26	公 課 費							
27	繰 出 金							
	予 備 費							
	計	9,242,637	1,791,760	2,179,866	2,705,400	1,194,142	54,631	1,316,838
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	574,161	33,233	126,202	78,461	229,589	19,335	87,341
	地 方 債	2,130,000		955,000	1,047,000	128,000		
	そ の 他	420,989	12,420	144,078	53,024	210,502	965	
	一 般 財 源	6,117,487	1,746,107	954,586	1,526,915	626,051	34,331	1,229,497

令和8年度当初予算歳入歳出事項別明細書(地域社会振興部)

(単位:千円)

款 項 目  節		2款 総務費				
		4項		5項		
		市町村振興費	1目 自治振興費	選挙費	1目 選挙管理委員会費	2目 県政選挙費
1	報酬			5,051	4,977	74
2	給料			8,098	8,098	
3	職員手当等			5,221	5,221	
4	共済費			3,329	3,329	
5	災害補償費					
6	恩給及び退職年金					
7	報償費	242	242	147	97	50
8	旅費	2,134	2,134	1,422	1,172	250
	費用弁償	21	21	403	393	10
	普通旅費	2,113	2,113	412	322	90
	特別旅費			607	457	150
9	交際費					
10	需用費	12,788	12,788	27,510	761	26,749
11	役務費	5,018	5,018	2,770	370	2,400
12	委託料	115,117	115,117	2,160	160	2,000
13	使用料及び賃借料	3,305	3,305	582	232	350
14	工事請負費	115,994	115,994			
15	原材料費					
16	公有財産購入費					
17	備品購入費					
18	負担金、補助及び交付金	774,558	774,558	137,616	669	136,947
19	扶助費					
20	貸付金					
21	補償、補填及び賠償金					
22	償還金、利子及び割引料					
23	投資及び出資金					
24	積立金					
25	寄付金					
26	公課費					
27	繰出金					
	予備費					
	計	1,029,156	1,029,156	193,906	25,086	168,820
財 源 内 訳	国庫支出金			247	247	
	地方債					
	その他	414,562	414,562	18	18	
	一般財源	614,594	614,594	193,641	24,821	168,820

令和8年度当初予算歳入歳出事項別明細書(地域社会振興部)

(単位:千円)

節	款 項 目	3款			地域社会振興部 計
		民生費	1項 社会福祉費	1目	
				社会福祉総務費	
1	報酬	12,269	12,269	12,269	247,828
2	給料	44,539	44,539	44,539	801,702
3	職員手当等	27,490	27,490	27,490	512,135
4	共済費	17,426	17,426	17,426	327,159
5	災害補償費				
6	恩給及び退職年金				
7	報償費	5,988	5,988	5,988	24,814
8	旅費	5,453	5,453	5,453	59,328
	費用弁償	608	608	608	16,172
	普通旅費	1,208	1,208	1,208	24,759
	特別旅費	3,637	3,637	3,637	18,397
9	交際費				300
10	需用費	4,105	4,105	4,105	126,662
11	役務費	1,784	1,784	1,784	46,996
12	委託料	33,782	33,782	33,782	3,697,621
13	使用料及び賃借料	3,056	3,056	3,056	56,177
14	工事請負費				1,298,207
15	原材料費				4,180
16	公有財産購入費				
17	備品購入費				278,218
18	負担金、補助及び交付金	223,307	223,307	223,307	3,573,098
19	扶助費	1,500	1,500	1,500	1,500
20	貸付金				
21	補償、補填及び賠償金				10,414
22	償還金、利子及び割引料				
23	投資及び出資金				
24	積立金				
25	寄付金				
26	公課費				
27	繰出金				
	予備費				
	計	380,699	380,699	380,699	11,066,339
財源内訳	国庫支出金	137,771	137,771	137,771	712,179
	地方債				2,130,000
	その他	72	72	72	840,684
	一般財源	242,856	242,856	242,856	7,383,476

節 の 明 細

項 目	金額（千円）等														
2 款 総務費															
1 項 総務管理費															
3 目 広報費															
負担金、補助及び交付金	<table border="1"> <tr> <td>広聴担当職員能力向上に係る研修経費負担金</td> <td style="text-align: right;">40</td> </tr> </table>	広聴担当職員能力向上に係る研修経費負担金	40												
広聴担当職員能力向上に係る研修経費負担金	40														
4 目 文書費															
報酬	鳥取県情報公開・個人情報保護審査会委員 7 人														
負担金、補助及び交付金	情報公開・個人情報保護審査会委員専門研修負担金 42														
15 目 総合事務所費															
負担金、補助及び交付金	<table border="1"> <tr> <td>中部総合事務所安全運転運行管理者協議会負担金</td> <td style="text-align: right;">10</td> </tr> <tr> <td>西部総合事務所安全運転運行管理者協議会負担金</td> <td style="text-align: right;">172</td> </tr> <tr> <td>中部圏域みんなで地方創生事業補助金</td> <td style="text-align: right;">2,000</td> </tr> <tr> <td>西部圏域みんなで地方創生事業補助金</td> <td style="text-align: right;">2,000</td> </tr> <tr> <td>震災復興活動特別支援事業補助金</td> <td style="text-align: right;">300</td> </tr> </table>	中部総合事務所安全運転運行管理者協議会負担金	10	西部総合事務所安全運転運行管理者協議会負担金	172	中部圏域みんなで地方創生事業補助金	2,000	西部圏域みんなで地方創生事業補助金	2,000	震災復興活動特別支援事業補助金	300				
中部総合事務所安全運転運行管理者協議会負担金	10														
西部総合事務所安全運転運行管理者協議会負担金	172														
中部圏域みんなで地方創生事業補助金	2,000														
西部圏域みんなで地方創生事業補助金	2,000														
震災復興活動特別支援事業補助金	300														
2 項 企画費															
1 目 企画総務費															
報酬	会計年度任用職員 97 人														
給料	一般職員 185 人														
負担金、補助及び交付金	<table border="1"> <tr> <td>北方領土返還要求運動鳥取県民会議運営費補助金</td> <td style="text-align: right;">270</td> </tr> <tr> <td>地域民主主義再興事業モデル事業補助金</td> <td style="text-align: right;">3,000</td> </tr> <tr> <td>中山間地域等投票環境維持確保事業補助金</td> <td style="text-align: right;">5,250</td> </tr> </table>	北方領土返還要求運動鳥取県民会議運営費補助金	270	地域民主主義再興事業モデル事業補助金	3,000	中山間地域等投票環境維持確保事業補助金	5,250								
北方領土返還要求運動鳥取県民会議運営費補助金	270														
地域民主主義再興事業モデル事業補助金	3,000														
中山間地域等投票環境維持確保事業補助金	5,250														
2 目 計画調査費															
報酬	<table border="1"> <tr> <td>鳥取県文化芸術活動支援補助金交付対象事業選定委員</td> <td style="text-align: right;">5 人</td> </tr> <tr> <td>鳥取県美術展覧会運営部会委員</td> <td style="text-align: right;">17 人</td> </tr> <tr> <td>鳥取県ジュニア美術展覧会運営部会委員</td> <td style="text-align: right;">5 人</td> </tr> <tr> <td>鳥取県文化芸術事業評価委員</td> <td style="text-align: right;">12 人</td> </tr> <tr> <td>鳥取県文化功労賞等知事表彰選考委員会委員</td> <td style="text-align: right;">5 人</td> </tr> <tr> <td>鳥取県文化芸術振興審議会委員</td> <td style="text-align: right;">10 人</td> </tr> <tr> <td>鳥取県指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会委員</td> <td style="text-align: right;">16 人</td> </tr> </table>	鳥取県文化芸術活動支援補助金交付対象事業選定委員	5 人	鳥取県美術展覧会運営部会委員	17 人	鳥取県ジュニア美術展覧会運営部会委員	5 人	鳥取県文化芸術事業評価委員	12 人	鳥取県文化功労賞等知事表彰選考委員会委員	5 人	鳥取県文化芸術振興審議会委員	10 人	鳥取県指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会委員	16 人
鳥取県文化芸術活動支援補助金交付対象事業選定委員	5 人														
鳥取県美術展覧会運営部会委員	17 人														
鳥取県ジュニア美術展覧会運営部会委員	5 人														
鳥取県文化芸術事業評価委員	12 人														
鳥取県文化功労賞等知事表彰選考委員会委員	5 人														
鳥取県文化芸術振興審議会委員	10 人														
鳥取県指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会委員	16 人														
負担金、補助及び交付金	<table border="1"> <tr> <td>地域の芸術祭等開催事業補助金</td> <td style="text-align: right;">11,500</td> </tr> <tr> <td>工芸・アート村推進事業補助金</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> </tr> <tr> <td>鳥の劇場運営委員会補助金</td> <td style="text-align: right;">31,000</td> </tr> <tr> <td>美術館と連携したアートイベント支援事業補助金</td> <td style="text-align: right;">3,000</td> </tr> <tr> <td>優れた演劇の創造・発信等による芸術振興及び地域活性化事業補助金</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> <tr> <td>鳥取県文化団体連合会活動支援補助金</td> <td style="text-align: right;">20,279</td> </tr> </table>	地域の芸術祭等開催事業補助金	11,500	工芸・アート村推進事業補助金	5,000	鳥の劇場運営委員会補助金	31,000	美術館と連携したアートイベント支援事業補助金	3,000	優れた演劇の創造・発信等による芸術振興及び地域活性化事業補助金	10,000	鳥取県文化団体連合会活動支援補助金	20,279		
地域の芸術祭等開催事業補助金	11,500														
工芸・アート村推進事業補助金	5,000														
鳥の劇場運営委員会補助金	31,000														
美術館と連携したアートイベント支援事業補助金	3,000														
優れた演劇の創造・発信等による芸術振興及び地域活性化事業補助金	10,000														
鳥取県文化団体連合会活動支援補助金	20,279														

2 款 総務費		
2 項 企画費		
2 目 計画調査費		
負担金、補助 及び交付金	学校における芸術文化事業（芸術鑑賞教室等）補助金	9,000
	鳥取県総合芸術文化祭開催事業補助金	23,707
	鳥取県総合芸術文化祭実行委員会事務局運営費補助金	29,211
	鳥取県文化芸術活動支援補助金	4,200
	鳥取県魅力ある展示支援事業補助金	700
	鳥取県アートスタート活動支援事業補助金	1,300
	文化芸術に親しみやすい環境整備支援事業補助金	300
	国民文化祭等参加推進事業補助金	3,440
	（一財）地域創造負担金	2,363
	エンジン01負担金	30
	万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会参加チーム旅費負担金	850
	鳥取県次代の文化芸術を担う人材育成事業補助金	7,100
	CATCH the STARミュージックコンテスト実行委員会補助金	3,500
5 目 スポーツ振興費		
報酬	鳥取県スポーツ審議会委員	12 人
	鳥取県指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会委員	11 人
負担金、補助 及び交付金	デフリンピックトップアスリート強化支援事業補助金	10,000
	トップアスリート強化支援事業補助金	41,100
	鳥取県合宿聖地化支援補助金	800
	JOC認定競技別強化センター支援補助金	41,607
	障がい者スポーツ拠点施設運営事業費補助金	24,616
	グラウンド・ゴルフ国際大会開催事業負担金	2,000
	グラウンド・ゴルフの聖地化等生涯スポーツ創生事業補助金	4,700
	鳥取県スポーツ推進委員協議会補助金	190
	鳥取県障がい者スポーツ国際交流事業費補助金	2,320
	スポトピアイベント開催事業費補助金	2,200
	競技力向上のための指導者の確保事業補助金	17,543
	競技力向上対策事業補助金	254,360
	国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会準備委員会負担金	10,000
	スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業補助金	27,655
	都道府県対抗駅伝強化費補助金	1,600
	鳥取マラソン支援事業負担金	7,500
	鳥取さわやか車いす&湖山池マラソン大会開催事業費補助金	2,949

2 款 総務費		
2 項 企画費		
5 目 スポーツ振興費		
負担金、補助 及び交付金	鳥取県プロスポーツチーム等への県民活動応援モデル事業補助金	1,000
	鳥取県スポーツ特別アドバイザーを活用した強化試合誘致事業補助金	300
	鳥取方式の芝生化促進事業補助金	10,000
	東山水泳場下水道整備負担金	5,040
	(公財) 鳥取県スポーツ協会運営費補助金	146,060
	(一社) 鳥取県障がい者スポーツ協会運営費補助金	68,742
	倉吉自転車競技場管理運営費補助金	10,806
	鳥取県立障がい者体育センター利用促進交付金	1,700
	米子アリーナ整備事業負担金負担金	1,023,839
	ワールドマスターズゲームズ2027関西鳥取県大会開催準備事業負担金	117,459
6 目 文化財保護費		
報酬	鳥取県指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会委員	8 人
	青谷かみじちフェスタプロポーザル審査会委員	5 人
	鳥取県文化財保護審議会委員	21 人
	鳥取県文化財保護審議会専門委員	6 人
	鳥取県銃砲刀剣類登録審査会委員	4 人
	鳥取県銃砲刀剣類登録審査会補助員	2 人
	とっとり弥生の王国調査整備活用委員会委員	10 人
	青谷上寺地遺跡展示制作プロポーザル審査会委員	4 人
	青谷上寺地遺跡動画制作プロポーザル審査会委員	4 人
負担金、補助 及び交付金	ヘリテージマネージャー研修負担金	100
	コウノトリ生態調査負担金	1,000
	鳥取県文化財等保存・保護事業費補助金(国・県指定文化財等)	182,732
	地域民俗芸能再生事業費補助金	490
	中国・四国ブロック民俗芸能大会負担金	600
	池田家墓所整備活用促進事業費補助金	11,200
	「温泉文化」に関する詳細調査負担金	3,000
	鳥取県文化財等保存・保護事業費補助金(県指定文化財)	1,680
	妻木晩田遺跡活用実行委員会負担金	200
	鳥取県ミュージアム・ネットワーク負担金	2
	淀江地域魅力紹介パンフレット負担金	100
	古代歴史文化に関する共同調査研究事業負担金	200
	鳥取県文化財等保存・保護事業費補助金(史跡、埋蔵文化財等)	116,462

2 款 総務費			
2 項 企画費			
6 目 文化財保護費			
負担金、補助 及び交付金	青谷上寺地遺跡スーパーボランティア支援事業交付金		2,192
	鳥取市施設利用負担金		2,950
	妻木晩田遺跡発掘調査負担金		43
7 目 埋蔵文化財センター費			
負担金、補助 及び交付金	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会負担金		30
	鳥取県ミュージアム・ネットワーク負担金		2
	鳥取市施設利用負担金		36
	各種資格取得負担金		150
8 目 美術館費			
報酬	鳥取県立美術館協議会委員		10 人
	鳥取県美術資料収集評価委員会委員		7 人
負担金、補助 及び交付金	鳥取県立美術館フィールドを活用した人材育成支援補助金		500
	企画展実行委員会負担金		93,120
	全県美術館ネットワーク強化推進事業補助金		2,678
	鳥取県美術館連携促進事業補助金		2,500
4 項 市町村振興費			
1 目 自治振興費			
負担金、補助 及び交付金	鳥取縣市町村創生交付金		270,000
	鳥取縣市町村振興協会交付金		401,000
	中四国自治連合会ブロック研修会開催事業補助金		300
	鳥取県権限移譲交付金		94,180
	東部圏域みんなで地方創生事業補助金		2,000
	日本風景街道新因幡ライン沿線自治体等連絡協議会負担金		1,100
	鳥取県国道29号日本風景街道推進事業費補助金		700
	国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会負担金		300
	鳥取県ニク（29）ロード推進事業補助金		707
	わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会負担金		1,500
	鳥取県氷ノ山県際交流推進事業補助金		290
	東部庁舎安全運転運行管理者協議会負担金		80
	八頭郡活性化戦略会議負担金		1,800
	八頭庁舎安全運転運行管理者協議会負担金		32
	八頭町情報通信基盤整備分担金		528
	鳥取県日野郡連携会議負担金		41

2 款 総務費		
5 項 選挙費		
1 目 選挙管理委員会費		
報酬	会計年度任用職員	1 人
	選挙管理委員会委員	4 人
給料	一般職員	2 人
負担金、補助 及び交付金	都道府県選挙管理委員会連合会負担金	211
	都道府県選挙管理委員会連合会中国支会負担金	14
	在外選挙人名簿登録事務交付金	44
	公益財団法人明るい選挙推進協会負担金	400
2 目 県政選挙費		
報酬	選挙長	1 人
負担金、補助 及び交付金	市町村交付金	132,862
	候補者公営費	4,085
3 款 民生費		
1 項 社会福祉費		
1 目 社会福祉総務費		
報酬	会計年度任用職員	4 人
	鳥取県人権尊重の社会づくり協議会委員	26 人
	鳥取県指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会委員	4 人
	鳥取県いじめ問題検証委員会委員	5 人
給料	一般職員	11 人
負担金、補助 及び交付金	鳥取県人権擁護委員連合会補助金	120
	鳥取県人権尊重の社会づくり啓発活動支援補助金	300
	人権尊重の社会づくり相談ネットワーク事業研修参加負担金	50
	鳥取県インターネット上の差別行為等の削除支援補助金	1,500
	鳥取県人権文化センター負担金	35,535
	鳥取県LGBTQ居場所づくり支援事業補助金	630
	鳥取県隣保館連絡協議会補助金	1,100
	鳥取県同和対策協議会補助金	126
	部落解放同盟鳥取県連合会補助金	2,300
	全国隣保館連絡協議会負担金	550
	部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金	100
	鳥取県隣保館運営費等補助金	180,996

継続費についての前前年度末までの支出額、前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額並びに事業の進行状況等に関する調書

款	項	事業名	全体計画						前前年度末までの支出額	前年度末までの支出(見込)額	当該年度支出予定額	当該年度末までの支出予定額	翌年度以降支出予定額	継続費の総額に対する進捗率	
			年度	年割額	左の財源内訳										一般財源
					特定財源			千円							
					千円	千円	千円								
				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%		
2 総務費	2 企画費	文化芸術拠点施設環境整備事業費(とりぎん文化会館昇降機設置工事)	7	83,627		75,000		8,627			83,627	83,627		40.3	
			8	124,092		111,000		13,092					124,092	59.7	
		計		207,719		186,000		21,719			83,627	83,627	124,092	100.0	
		文化芸術拠点施設環境整備事業費(米子コンベンションセンター受変電設備改修工事(真空遮断器等))	7	18,822		16,000		2,822			18,822	18,822		41.8	
			8	26,230		23,000		3,230					26,230	58.2	
		計		45,052		39,000		6,052			18,822	18,822	26,230	100.0	
		文化芸術拠点施設環境整備事業費(とりぎん文化会館舞台照明改修工事)	8	224,297		201,000		23,297			224,297	224,297		39.9	
			9	338,532		304,000		34,532					338,532	60.1	
		計		562,829		505,000		57,829			224,297	224,297	338,532	100.0	
		文化芸術拠点施設環境整備事業費(とりぎん文化会館舞台音響設備改修業務)	8	94,724		85,000		9,724			94,724	94,724		39.8	
			9	143,155		128,000		15,155					143,155	60.2	
		計		237,879		213,000		24,879			94,724	94,724	143,155	100.0	
		文化芸術拠点施設環境整備事業費(童謡館外壁ほか改修工事)	8	195,887		88,000	97,943	9,944			195,887	195,887		80.0	
			9	48,973		21,000	24,486	3,487					48,973	20.0	
		計		244,860		109,000	122,429	13,431			195,887	195,887	48,973	100.0	

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は  
支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

当該年度提出に係る分

事 項	課 名	限度額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳				備 考	
			期 間	金 額	期 間	金 額	特 定 財 源			一 般 財 源		
							国庫支出金	地方債	その他			
千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
令和8年度 県政選挙費	市町村課	423,991			令和9年度	423,991					423,991	
令和8年度 文化芸術拠点施設運 営費	文化政策課	31,886			令和9年度から 令和10年度まで	31,886					31,886	
令和8年度 鳥取県立美術館運営 事業	美術館	31,342			令和9年度から 令和10年度まで	31,342					31,342	
令和8年度 アートな鳥取創出事 業	美術館	62,478			令和9年度	62,478					62,478	
令和8年度 鳥取県立人権ひろば 21管理運営費	人権・同和 対策課	1,552			令和9年度から 令和10年度まで	1,552					1,552	
令和8年度 スポーツ推進基盤運 営費	スポーツ課	7,326			令和9年度から 令和10年度まで	7,326					7,326	
令和8年度 「ワールドマスターズ ゲームズ2027関西」 開催準備事業	関西ワール ドマスターズ ゲームズ課	40,841			令和9年度	40,841					40,841	
令和8年度 「とっとり弥生の王国」 弥生人+“ワン!”事 業	とっとり弥生 の王国推進 課	4,488			令和9年度	4,488					4,488	
令和8年度 史跡公園運営管理費	とっとり弥生 の王国推進 課	21,170			令和9年度から 令和10年度まで	21,270					21,270	
令和8年度 青谷かみじち史跡公 園整備事業	とっとり弥生 の王国推進 課	19,412			令和9年度	19,412	9,706	6,000	3,300		406	

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額  
又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事 項	課名	限度額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳				備考	
			期 間	金 額	期 間	金 額	特 定 財 源			一 般 財 源		
							国庫支出金	地 方 債	そ の 他			
千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
令和6年度 総合受付等運営費	県民課	35,460	令和7年度	9820	令和8年度から 令和9年度まで	18,000					18,000	総合受付案内業務委託
令和4年度 文化芸術拠点施設環境整備 事業	文化政策課	47,891	令和5年度から 令和7年度まで	22,542	令和8年度から 令和11年度まで	25,349					25,349	
令和5年度 文化芸術拠点施設運営費	文化政策課	2,642,277	令和6年度から 令和7年度まで	1,058,088	令和8年度から 令和10年度まで	1,584,189			31,886		1,584,189	
令和6年度 文化芸術拠点施設運営費	文化政策課	144,220	令和7年度	36,055	令和8年度から 令和10年度まで	108,165					108,165	
令和7年度 文化芸術拠点施設運営費	文化政策課	48,873			令和8年度から 令和10年度まで	48,873					48,873	
令和6年度 文化芸術拠点施設環境整備 事業	文化政策課	3,080	令和7年度	770	令和8年度から 令和10年度まで	2,310					2,310	
令和6年度 鳥取県立美術館整備推進事 業	美術館	15,336,640	令和2年度から 令和7年度	3,289,900	令和8年度から 令和21年度まで	12,046,740					12,046,740	
令和6年度 鳥取県立美術館整備推進事 業	美術館	51,421	令和7年度	3,787	令和8年度から 令和21年度まで	47,634					47,634	
令和7年度 鳥取県立美術館運営事業	美術館	44,024			令和8年度から 令和21年度まで	44,024					44,024	
令和5年度 鳥取県立人権ひろば21管理 運営費	人権・同和 対策課	45,030	令和6年度から 令和7年度まで	18,000	令和8年度から 令和10年度まで	27,000					27,000	
令和6年度 鳥取県立人権ひろば21管理 運営費	人権・同和 対策課	8,588	令和7年度	2,147	令和8年度から 令和10年度まで	6,441					6,441	
令和7年度 鳥取県立人権ひろば21管理 運営費	人権・同和 対策課	2,478			令和8年度から 令和10年度まで	2,478					2,478	
令和5年度 県立障がい者体育セン ター管理費	スポーツ課	39,379	令和6年度から 令和7年度まで	16,285	令和8年度から 令和10年度まで	23,094					23,094	
令和5年度 スポーツ推進基盤運営費	スポーツ課	816,524	令和6年度から 令和7年度まで	348,788	令和8年度から 令和10年度まで	467,736					467,736	
令和7年度 スポーツ推進基盤運営費	スポーツ課	37,246			令和8年度から 令和10年度まで	37,246					37,246	
令和5年度 米子新体育館整備事業	スポーツ課	2,925,996	令和6年度から 令和7年度まで	697,493	令和8年度から 令和23年度まで	2,228,503		859,000			1,369,503	
令和7年度 米子アリーナ整備事業	スポーツ課	116,350			令和8年度から 令和23年度まで	116,350		76,000			40,350	
令和4年度 青谷かみじち史跡公園施設 管理等委託費	とっとり弥生 の王国推進 課	378,681	令和5年度から 令和7年度まで	169,004	令和8年度から 令和10年度まで	198,516			75,042		123,474	
令和5年度 むきばんだ史跡公園運営費	とっとり弥生 の王国推進 課	431,290	令和6年度から 令和7年度まで	172,516	令和8年度から 令和10年度まで	258,774					258,774	
令和6年度 青谷かみじち史跡公園運営 管理費	とっとり弥生 の王国推進 課	34,344	令和7年度	8,586	令和8年度から 令和10年度まで	25,758			9,684		16,074	
令和6年度 むきばんだ史跡公園運営費	とっとり弥生 の王国推進 課	36,404	令和7年度	9101	令和8年度から 令和10年度まで	27,303					27,303	
令和7年度 史跡公園運営管理費	とっとり弥生 の王国推進 課	27,366			令和8年度から 令和10年度まで	27,366			5,496		21,870	
令和6年度 東部庁舎庁舎管理費	東部地域振 興事務所	59,451	令和7年度	35,223	令和8年度から 令和9年度まで	22,926					22,926	清掃業務委託・警備員宿日直業務委託
令和7年度 東部庁舎庁舎管理費	東部地域振 興事務所	104,417			令和8年度から 令和10年度まで	104,417					104,417	清掃業務委託・施設総合保守管理業務委託・構内植栽管理業務委託

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額  
又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事 項	課 名	限度額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳				備 考	
			期 間	金 額	期 間	金 額	特 定 財 源			一 般 財 源		
							国庫支出金	地 方 債	そ の 他			
千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
令和7年度 中部総合事務所運営事業	中部総合事務所県民福祉局	40,768			令和8年度から 令和10年度まで	40,768					40,768	常駐警備委託・建築物環境衛生管理業務委託
令和2年度 鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所靴町庁舎整備等事業費	西部総合事務所県民福祉局	1,638,924	令和3年度から 令和7年度まで	1,165,926	令和8年度から 令和14年度まで	432,793					432,793	
令和5年度 鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所靴町庁舎整備等事業費	西部総合事務所県民福祉局	16,286	令和6年度から 令和7年度まで	5,515	令和8年度から 令和14年度まで	10,771					10,771	割賦金利・維持管理費増額分
令和6年度 鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所靴町庁舎整備等事業費	西部総合事務所県民福祉局	1,564	令和7年度	196	令和8年度から 令和14年度まで	1,368					1,368	割賦金利・維持管理費増額分
令和7年度 鳥取県西部総合事務所・米子市役所靴町庁舎維持管理等事業	西部総合事務所県民福祉局	15,421			令和8年度から 令和14年度まで	15,421					15,421	維持管理費増額分
令和6年度 西部総合事務所費(日野振興センター管理運営費)	日野振興センター日野振興局	2,400	令和7年度	770	令和8年度から 令和9年度まで	1,540					1,540	建築物環境衛生管理業務委託
令和7年度 西部総合事務所費(日野振興センター管理運営費)	日野振興センター日野振興局	31,615			令和8年度から 令和12年度まで	31,615					31,615	機械警備業務委託

<p>条 例 名 等</p>	<p>鳥取県基金条例の一部を改正する条例</p>
<p>提 出 理 由 及 び 概 要</p>	<p>1 提出理由 鳥取県ねんりんピック基金の設置目的に定める事業が終了したことに伴い、所要の改正を行う。</p> <p>2 概要 (1) 鳥取県ねんりんピック基金は、廃止する。 (2) 施行期日は、公布日とする。</p>

鳥取県基金条例の一部を改正する条例

第1条 鳥取県基金条例（平成19年鳥取県条例第10号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、下線及び太枠で示すように改正する。

改正後					改正前				
別表第1（第2条、第3条、第5条、第7条関係）					別表第1（第2条、第3条、第5条、第7条関係）				
名称	設置目的	積立て	運用益金の整理又は処理	処分事由	名称	設置目的	積立て	運用益金の整理又は処理	処分事由
略					略				
29 鳥取県臨時財政対策債償還基金	地方財政法（昭和23年法律第109号）第33条の5の2第1項に規定する地方債（以下「臨時財政対策債」という。）の償還に必要な財源を確保し、県財政の健全な運営に資すること。	一般会計歳入歳出予算に定める額	一般会計歳入歳出予算に計上して当該基金に積立て	臨時財政対策債の償還の財源に充てるとき。	29 鳥取県臨時財政対策債償還基金	地方財政法（昭和23年法律第109号）第33条の5の2第1項に規定する地方債（以下「臨時財政対策債」という。）の償還に必要な財源を確保し、県財政の健全な運営に資すること。	一般会計歳入歳出予算に定める額	一般会計歳入歳出予算に計上して当該基金に積立て	臨時財政対策債の償還の財源に充てるとき。
30 鳥取県ねんりんピック基金	令和6年度に鳥取県において全国健康福祉祭を開催するため必要な経費に充てること。	一般会計歳入歳出予算に定める額	(1) 一般会計歳入歳出予算に計上して、当該基金の設置目的を達成するために必要な経費の財源に	当該基金の設置目的を達成するために必要な経					

								充 当 (2) (1) のほか、 一般会計 歳入歳出 予算に計 上して基 金に積立 て	費の 財源 に充 てる と き。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---------------------------------

第2条 略

第3条 略

附 則

この条例は、公布の日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) 第2条の規定 令和8年4月1日

(2) 第3条の規定 令和8年6月1日

条 例 名 等	財産を無償で貸し付けること（米子コンベンションセンター用地）について								
提 出 理 由 及 び 概 要	<p><b>1 提出理由</b></p> <p>次のとおり財産を無償で貸し付けることについて、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項の規定により、本議会の議決を求める。</p> <p><b>2 概要</b></p> <p>(1) 財産の内容</p> <table border="1" data-bbox="343 779 1423 922"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>所 在 地</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土 地</td> <td>米子市末広町295番ほか10筆</td> <td>4,572.34平方メートルのうち1,000分の67</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 相手方 米子市</p> <p>(3) 貸付期間 令和8年4月1日から令和11年3月31日まで</p> <p>(4) 理由 県と米子市が締結した鳥取県立米子コンベンションセンターの管理運営に関する協定に基づき、管理運営を共同で行うため、引き続き同市の建物持分に相当する用地を無償で貸し付けようとするものである。</p>			種 類	所 在 地	数 量	土 地	米子市末広町295番ほか10筆	4,572.34平方メートルのうち1,000分の67
種 類	所 在 地	数 量							
土 地	米子市末広町295番ほか10筆	4,572.34平方メートルのうち1,000分の67							